

建築基準法第51条ただし書の
規定に基づく建築物の敷地の
位置の許可について

(特定行政庁秋田市長)

令和4年12月26日審議

秋田県都市計画審議会会長

令 4 建指第 2 0 4 8 号
令和 4 年 1 1 月 2 4 日

秋田県知事 佐 竹 敬 久 様

特定行政庁
秋田市長 穂 積



建築基準法第 5 1 条ただし書許可の規定による
秋田県都市計画審議会への付議について（依頼）

建築基準法第 5 1 条ただし書の規定により、令和 4 年 1 0 月 1 3 日付けで申請された下記建築物について、これを許可するために、同条の規定に基づき秋田県都市計画審議会の議を経なければならないことから、同審議会への付議をお願いします。

記

- | | |
|--------|---|
| 1 申請者 | 秋田県湯沢市小野字西十日町 8 3
株式会社湯沢クリーンセンター
代表取締役 安藤 誠一郎 |
| 2 計画施設 | |
| 所在地 | 秋田市飯島字穀丁大谷地 1 5 7 - 5、2 3 1 - 3 および 1 7 5 - 4 |
| 種類 | 産業廃棄物処理施設（破碎施設） |

担 当 秋田市都市整備部建築指導課
審査・検査担当 原田 裕
電話 018-888-5769
F A X 018-888-5763

申請理由書

株式会社 湯沢クリーンセンター

弊社は、平成6年7月に廃棄物処理並びに資源再生を主たる事業目的として設立し、平成8年11月に産業廃棄物処理業（廃プラスチック類、木くず等の焼却）に係る秋田県知事許可を取得し湯沢市で産業廃棄物処理業を開始しました。以降、廃棄物の適正処理はもちろんのこと、廃棄物の有効利用を心掛け廃棄物のリサイクル事業を展開し、循環型社会構築の一助となるべく事業を拡大してきました。

平成18年には容器包装プラスチックリサイクル事業を開始し、平成23年には秋田市飯島にある第二工場が本格稼働を開始いたしました。その後現在に至るまで一般廃棄物の処理施設として稼働してまいりましたが、今年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、その法律により現在の容器包装プラスチック（分別適合物）に合わせて同様の性状の産業廃棄物を処理することが可能となりました。しかしながら弊社第二工場では産業廃棄物処理施設の設置許可を取得しておらず、その分別収集適合物等を処理するにあたり、産業廃棄物処理施設設置許可が必要となり本申請をする運びとなりました。

施設設置に当たっては、現在一般廃棄物の処理施設として稼働中ではありますが、同様に周囲の環境に影響がないよう十分配慮した処理計画及び工程を策定し、保管に関しましても飛散・流出・悪臭が発生しないよう管理し、さらに最大処理能力を超えて保管しないように廃棄物処理法を遵守し行う所存でございます。

何卒、本処理施設設置計画につきましてご理解とご指導を頂きたい、よろしくお願い申し上げます。

事業計画概要書

区 分	詳 細
事 業 者	株式会社 湯沢クリーンセンター 秋田県湯沢市小野字西十日町83番地 TEL0183-52-5300 FAX0183-52-5222 Mail haipura@yuclean.jp
申請処理施設の詳細	湯沢クリーンセンター 第二工場 秋田県秋田市飯島字穀丁大谷地157番地 TEL018-880-5301 FAX018-880-5302 Mail haipura2@yuclean.jp
申請目的	申請理由書に記載の通り
施設の使用目的	「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に定める一般廃棄物及び産業廃棄物の再資源化（マテリアルリサイクル）
受入れする廃棄物の種類及び性状	廃プラスチック類（PE/PP/PS/PA/PET/PVC他） 荷姿 受入れ原料：圧縮後PPバンド又は番線で梱包場合によっては袋、もしくはラップ等で包装されている
処理の流れ	公益財団法人日本容器包装リサイクル協会から全国競争入札により落札した自治体の一般・産業廃棄物 ↓ 各市町村が回収し市町村保管場所に集積、選別圧縮する ↓ 各自治体から回収依頼を受けて回収して弊社工場にて中間処理をする

中間処理後の製品（リサイクル品）の種類と荷姿および販売先	・PE・PP混合減容品 (株)アンドー (株)エコパレット滋賀 J&T環境(株) ・PSインゴット (株)日新工業 荷姿：両製品ともフレコン詰め
中間処理後の廃棄物の種類と荷姿および処分方法（残渣）	・廃プラスチック類（再生利用不適合品） 中間処理（圧縮固化）(株)湯沢クリーンセンター （焼却発電）(株)ユナイテッド計画 （溶融） (株)最上クリーンセンター （セメント）(株)八戸セメント ・汚泥 最終処分 (財)秋田県環境保全センター 荷姿：すべてフレコン詰め
施設概要	詳 細
設備の仕様	別添え資料参照
処理能力・稼働時間	乾式破碎877 k g / h 24時間稼働 21.048 t / 日 湿式破碎879 k g / h 24時間稼働 21.096 t / 日 （比重選別機877 k g / h 24時間稼働 21.048 t / 日） ※湿式破碎機は乾式破碎機の後段に接続している為、上記の能力となるが、単体では879 k g / h 24時間稼働 21.096 t / 日となる
保管施設	
保管施設の面積	原料（処理前）：屋内保管：220.32㎡・屋外保管：184.32㎡ 残渣（処理後）：屋内保管100.90㎡・屋外保管205.165㎡
保管施設の能力	原料（処理前）：屋内保管：140.50 t・屋外保管：96.00 t 残渣（処理後）：屋内保管：52.44 t・屋外保管：102.00 t
保管方法	屋内・屋外保管
保管期間	最大14日間

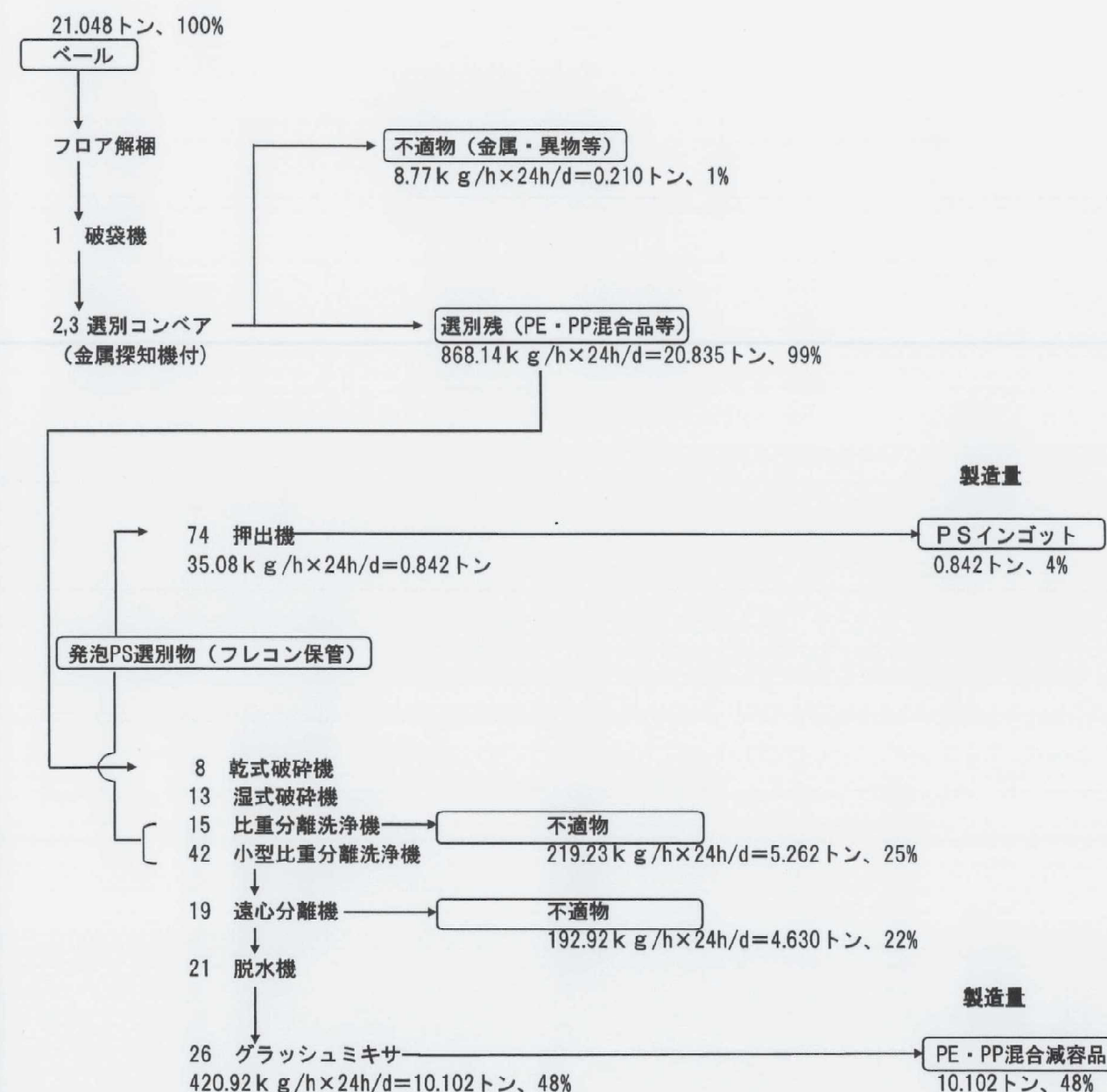
排水の処理方法	再生処理過程から発生する排水処理につきましては、B O D、C O D、S S 等有害物質に関する水質汚濁防止法に定める規制基準及び秋田県公害防止条例に定める基準値を満たす処理を行ったうえで放流いたします。（別添排水処理工程のとおり）
排ガスの処理方法	破碎施設で製造機動力も電気であり、且つ製造工程からも排ガスの発生はありません。
飛散・流出防止措置	屋内施設であり破碎によって生じる粉塵の周囲への飛散を防止する為、必要な防塵機の設置及び散水等を行います。
騒音・振動防止措置	処理施設設置場所は騒音・振動規制区域外であるが、環境影響予測調査を踏まえたうえで周囲生活環境に影響が無いよう必要な措置を講じます。又、処理施設設置場所を屋内とし、定期的に機械の点検を行いがたつき等による無用な騒音・振動の防止に努めます。
地下浸透防止措置	処理施設建屋の床面は敷地地盤よりも高くし、施設敷地内に場外排水溝を敷設して雨水等による施設内への流入を防止すると共に、開口部は重量シャッターを設置しております。又、処理施設床面はコンクリート又はアスファルト舗装を施しており地下浸透はありません。
悪臭・害虫防止措置	取扱い品目からして悪臭・害虫発生の恐れは極めて少ないが努めて清掃し、清潔に保ちます。万一発生した場合は殺虫剤を散布します。
使用道路の安全確保	再生処理施設周辺は、工業道路のみの使用であります但しその他の接続道路に関しましても、安全を確保します又、使用道路が道路事情その他の理由により交通整理を必要とする場合は、交通整理員の配置等必要な措置を講じ、安全の確保に努め常に清掃し清潔を保つよう努めます。

搬入時の圧縮梱包された原料廃棄物及び性状の確認	車両から圧縮梱包された原料廃棄物を荷降ろしする前に、中間処理できる品目であるか確認の上で荷降ろしをします。中間処理できる品目以外の廃棄物が荷降ろしされた場合には、速やかに撤去します又、委託契約している排出事業者以外の廃棄物は受け入れしません。
圧縮梱包された原料廃棄物の搬入時間	搬入は時間を定めて行うこととし、施設への圧縮梱包された原料廃棄物の搬入時間は原則AM8：00～PM5：00までとします。
事故の防止	廃棄物が処理施設から流出する等の異常な事態が生じたときは、直ちに運転を停止し、流出した廃棄物の回収その他の生活環境の保全上必要な措置を講じ、速やかに関係機関に報告連絡しその指示に従い処理します。
記録及び保存	施設の維持管理に関する点検、検査その他の措置の記録を作成し、3年間保存します。法に定める帳簿類等については、1年ごとにとりまとめ、5年間事業場に保存します。又、書類、記録等は、速やかに提示できるよう管理事務所に備えることとします。

資料 5

廃プラスチック処理工程図に沿った物質収支と1日の処理量

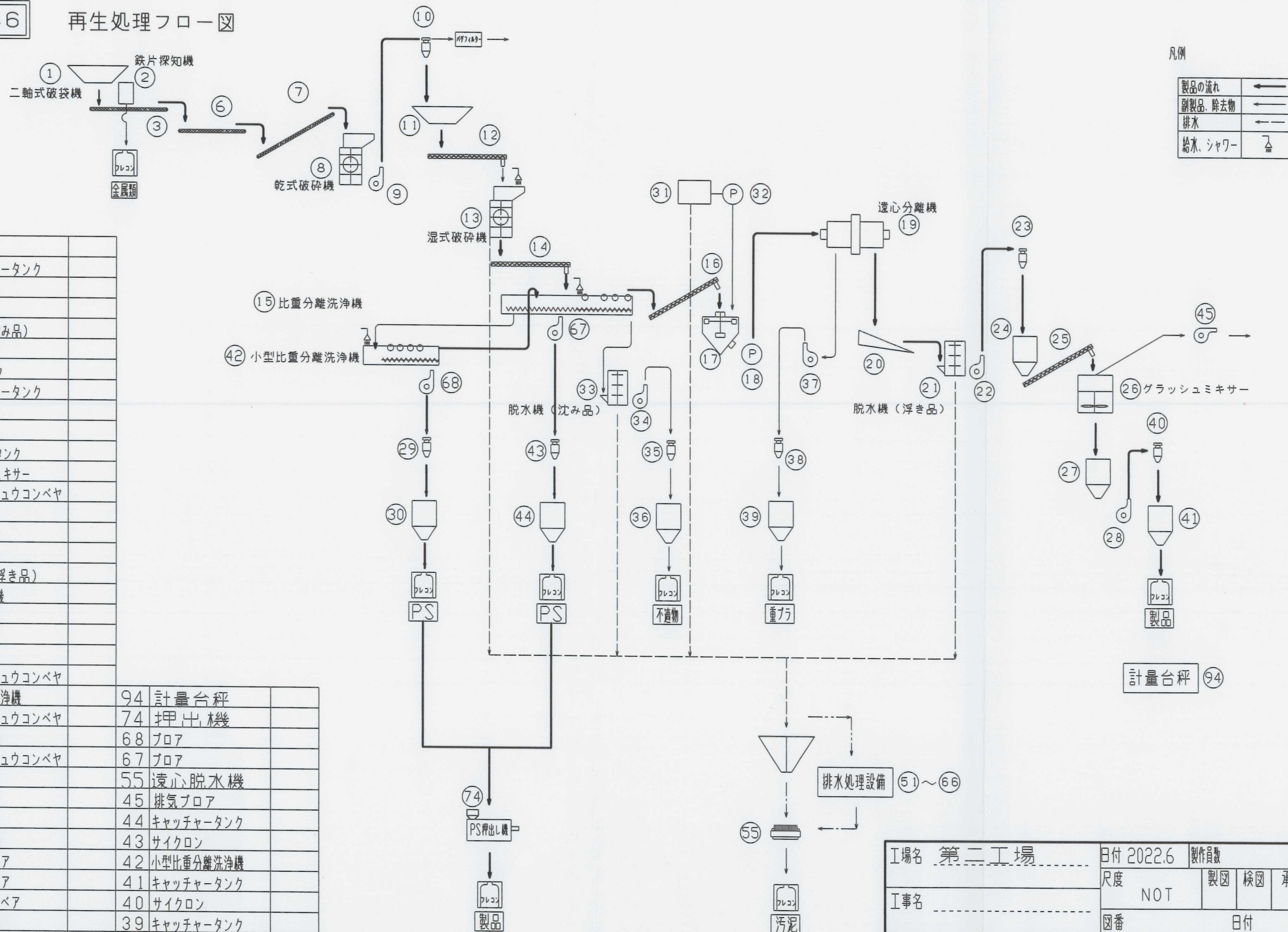
1日の処理量 $877\text{kg/h} \times 24\text{h/d} = 21.048\text{トン/日}$



- 注) ① 1日の稼働時間は24時間
 ② ラインの切り替えは無い
 ③ 再生処理能力： $877\text{kg/時} \times 24\text{h/日} \times 25.416\text{day/月} = 534,955\text{kg/月} \times 12 \rightarrow 6,419\text{トン/年}$
 ④ ライン全体の年間保守日数：24日（稼働日以外の日隔週で行う）

資料 6

再生処理フロー図



37	ブロア	
36	キャッチャータンク	
35	サイクロン	
34	ブロア	
33	脱水機（沈み品）	
32	供給ポンプ	
31	補給水タンク	
30	キャッチャータンク	
29	サイクロン	
28	ブロア	
27	クッションタンク	
26	グラッシュミキサー	
25	搬送スクリュウコンベヤ	
24	貯留タンク	
23	サイクロン	
22	ブロア	
21	脱水機（浮き品）	
20	脱水篩機	
19	遠心分離機	
18	供給ポンプ	
17	攪拌タンク	
16	搬送スクリュウコンベヤ	
15	比重分離洗浄機	
14	搬送スクリュウコンベヤ	
13	湿式破碎機	
12	搬送スクリュウコンベヤ	
11	供給タンク	
10	サイクロン	
9	ブロア	
8	乾式破碎機	
7	搬送コンベア	
6	搬送コンベア	
3	手選別コンベア	
2	鉄片探知器	
1	2軸式破袋機	
品番	機器名称	モーター容量

94	計量台秤	
74	押出機	
68	プロア	
67	プロア	
55	遠心脱水機	
45	排気プロア	
44	キャッチャータンク	
43	サイクロン	
42	小型比重分離洗浄機	
41	キャッチャータンク	
40	サイクロン	
39	キャッチャータンク	
38	サイクロン	
品番	機器名称	モーター容量

工場名	第二工場	日付	2022.6	製作員数	
工事名		尺度	NOT	製図	検図 承認
図面名称	第二工場 設備フロー図	図番		日付	
型式		製番		尺度	
(株) 湯沢クリーンセンター					



許可申請書（建築物）

（第一面）

建築基準法第51条ただし書の規定による許可を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、
事実と相違ありません。

特定行政庁 秋田市長 穂積 志様

令和4年 10月 13日

申請者氏名 株式会社 湯沢クリーンセンター
代表取締役 安藤 誠一郎

【1. 申請者】
【イ. 氏名のフリガナ】 カブシキガイシャ ユザワクリーンセンター ダイヒョウトリシマリヤク アンドウセイイチロウ
【ロ. 氏名】 株式会社湯沢クリーンセンター 代表取締役 安藤誠一郎
【ハ. 郵便番号】 019-0205
【ニ. 住所】 秋田県湯沢市小野字西十日町83番地
【ホ. 電話番号】 0183-52-5300

【2. 設計者】
【イ. 資格】
【ロ. 氏名】
【ハ. 建築士事務所名】

【ニ. 郵便番号】
【ホ. 所在地】
【ヘ. 電話番号】

※手数料欄 現金 ￥160,000-			
※受付欄 第 係員氏名	※消防関係同意欄	※決裁欄	※許可番号欄 年 月 日 第 号 係員氏名
第 係員氏名	※公開による意見の 聴取の期日欄	※建築審査会同意欄	※都道府県都市計画 審議会又は市町村都 市計画審議会 年 月 日 第 号 係員氏名

（第二面）

建築物及びその敷地に関する事項

【1. 地名地番】 秋田県秋田市飯島字穀丁大谷地157-5・231-3・175-4

【2. 住居表示】 ~~秋田県秋田市飯島字穀丁大谷地157-5~~

【3. 防火地域】 ☐防火地域 ☐準防火地域 ☒指定なし

【4. その他の区域、地域、地区又は街区】 22条区域

【5. 道路】
【イ. 幅員】 14.9m
【ロ. 敷地と接している部分の長さ】 32.4m

【6. 敷地面積】
【イ. 敷地面積】 (1) 4,954.61㎡)()()
(2))()()
【ロ. 用途地域等】 (工業専用地域) (工業専用地域))()
【ハ. 建築基準法第52条第1項及び第2項の規定による建築物の容積率】
(200)()
【ニ. 建築基準法第53条第1項の規定による建築物の建蔽率】
(60)()
【ホ. 敷地面積の合計】 (1) 4,954.61㎡
(2)
【ヘ. 敷地に建築可能な延べ面積を敷地面積で除した数値】 200
【ト. 敷地に建築可能な建築面積を敷地面積で除した数値】 60
【チ. 備考】

【7. 主要用途】 (区分08340)工場 (作業所)

【8. 工事種別】 ☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転 ☐用途変更 ☐大規模の修繕 ☐大規模の模様替
☒受け入れ原料の種類追加

【9. 建築面積】 (申請部分)(申請以外の部分)(合計)
【イ. 建築面積】 ()(1,790.44㎡)(1,790.44㎡)
【ロ. 建蔽率】 36.14%

【10. 延べ面積】 (申請部分)(申請以外の部分)(合計)
【イ. 建築物全体】 ()(1,872.14㎡)(1,872.14㎡)
【ロ. 地階の住宅又は老人ホーム等の部分】
()()
【ハ. エレベーターの昇降路の部分】
()()
【ニ. 共同住宅又は老人ホーム等の共用の廊下等の部分】
()()
【ホ. 自動車車庫等の部分】 ()()
【ヘ. 備蓄倉庫の部分】 ()()
【ト. 蓄電池の設置部分】 ()()
【チ. 自家発電設備の設置部分】
()()
【リ. 貯水槽の設置部分】 ()()
【ヌ. 宅配ボックスの設置部分】
()()
【ル. 住宅の部分】 ()()
【ヲ. 老人ホーム等の部分】
()()
【ワ. 延べ面積】 1,872.14 ㎡
【カ. 容積率】 37.79 %

【11. 建築物の数】
【イ. 申請に係る建築物の数】
【ハ. 同一敷地内の他の建築物の数】 5

【12. 工事着手予定年月日】 年 月 日

【13. 工事完了予定年月日】 年 月 日

【14. その他必要な事項】

【15. 備考】 一般廃棄物の処理施設であったが今後廃棄物も混合で入ってくる為、廃棄物処理施設の許可
を取得する為

建築物別概要

(第三面)

【1. 番号】 1

【2. 工事種別等】

☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転 ☐用途変更

☐大規模の修繕 ☐大規模の模様替 ☒既設

【3. 構造】 鉄骨造

【4. 高さ】
【イ. 最高の高さ】 8.9536 m
【ロ. 最高の軒の高さ】 8.7m

【5. 階別用途別床面積】
【イ. 階別用途別】

(用途の区分)		(具体的な用途の名称)	(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)
(1 階)	(08340)	(工場)	()	(660.00㎡)	(660.00㎡)
	(08340)	(工場(排水浄化設備室))	()	(132.00㎡)	(132.00㎡)
	(08340)	(工場(増築))	()	(396.00㎡)	(396.00㎡)
	(08520)	(倉庫)	()	(441.00㎡)	(441.00㎡)
(階)	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
(階)	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
(階)	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
(階)	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()
	()	()	()	()	()

【ロ. 用途別】

(用途の区分)		(具体的な用途の名称)	(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)
(08340)	(工場)	()	(1,188.00㎡)	(1,188.00㎡)	
(08520)	(倉庫)	()	(441.00㎡)	(441.00㎡)	
()	()	()	()	()	
()	()	()	()	()	
()	()	()	()	()	

【6. その他必要な事項】

【7. 備考】

【1. 番号】 2

【2. 工事種別等】

☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転 ☐用途変更
☐大規模の修繕 ☐大規模の模様替 ☒既設

【3. 構造】

鉄骨プレハブ造

【4. 高さ】

【イ. 最高の高さ】 5.80m
【ロ. 最高の軒の高さ】 5.80m

【5.階別用途別床面積】

【イ.階別用途別】

(用途の区分)		具体的な用途の名称	(申請部分	(申請以外の部分)	(合計
(1階)	(08470)	(事務所 (休憩所))	((19.87m ²)	((19.87m ²)	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
(2階)	(//)	(事務所 (休憩所))	((13.25m ²)	((13.25m ²)	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
(階)	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
(階)	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
(階)	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()
()	()	()	()	()	()

【口、用途別】

[illegible]

【6. その他必要な事項】

【7. 備考】

【1. 番号】 3

【2. 工事種別等】

☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転 ☐用途変更
☐大規模の修繕 ☐大規模の模様替 ☒既設

【3. 構造】

鐵骨造

【4. 高さ】

【イ. 最高の高さ】 5.834m
【ロ. 最高の軒の高さ】 5.58m

【5. 階別用途別床面積】

【イ.階別用途別】

(用途の区分)(具体的な用途の名称)		(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)
(1 階)	(08520)(倉庫 (ストックヤード))	(59.85㎡)	(59.85㎡)	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
(階)	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
(階)	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
(階)	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
(階)	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	
	() ()	() ()	() ()	

【口.用途別】

(用途の区分)(具体的な用途の名称)(申請部分)		(申請以外の部分)	(合計)
(08520)	(倉庫 (RPFストックヤード))	(59.85m ²)	(59.85m ²)
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()
()	()	()	()

【6.その他必要な事項】

【7. 備考】

建築物別概要

【1. 番号】 4

【2. 工事種別等】 ☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転 ☐用途変更
☐大規模の修繕 ☐大規模の模様替 ☒既設

【3. 構造】 鉄骨プレハブ造

【4. 高さ】
 【イ. 最高の高さ】 2.74m
 【ロ. 最高の軒の高さ】 2.74m

【5.階別用途別床面積】

【イ.階別用途別】

(用途の区分)		具体的な用途の名称	(申請部分	(申請以外の部分)		(合計
(1 階)	(08470)	(事務所(シャワー室))	(	(9.95㎡	(	(9.95㎡)
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
(階)	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
(階)	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
(階)	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
(階)	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(
	(	(	(	(	(	(

【口.用途別】

(用途の区分)	(具体的な用途の名称)	(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)
(08470)	(事務所(シャワー室))	()	(9.95㎡)	(9.95㎡)
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()

【6.その他必要な事項】

【7. 備考】

建築物別概要

【1. 番号】 5

【2.工事種別等】 ☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転 ☐用途変更
☐大規模の修繕 ☐大規模の模様替 ☒既設

【3. 構造】 木造 2 階

【4. 高さ】
 【イ. 最高の高さ】 7.76m
 【ロ. 最高の軒の高さ】 6.26m

【5. 階別用途別床面積】

【イ、階別用途別】

(用途の区分)(具体的な用途の名称)		(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)
(1階)	(08470)(事務所)	(70.11㎡)	(70.11㎡)	
(2階)	(08470)(事務所)	(70.11㎡)	(70.11㎡)	
(階)				
(階)				
(階)				

【口，用途別】

(用途の区分)(具体的な用途の名称)		(申請部分)	(申請以外の部分)	(合計)
(08470)	(事務所)	()	(140.22㎡)	(140.22㎡)
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()
()	()	()	()	()

【6.その他必要な事項】

【7. 備考】



凡 例

- 設置場所
- 設置場所敷地境界からの等距離線
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 近隣商業地域
- 準工業地域
- 工業専用地域

出典：「国土数値情報 用途地域 秋田（令和元年度）」（国土交通省）

0 100 200 m
S=1:5,000

図 3-7 住宅の配置の概況

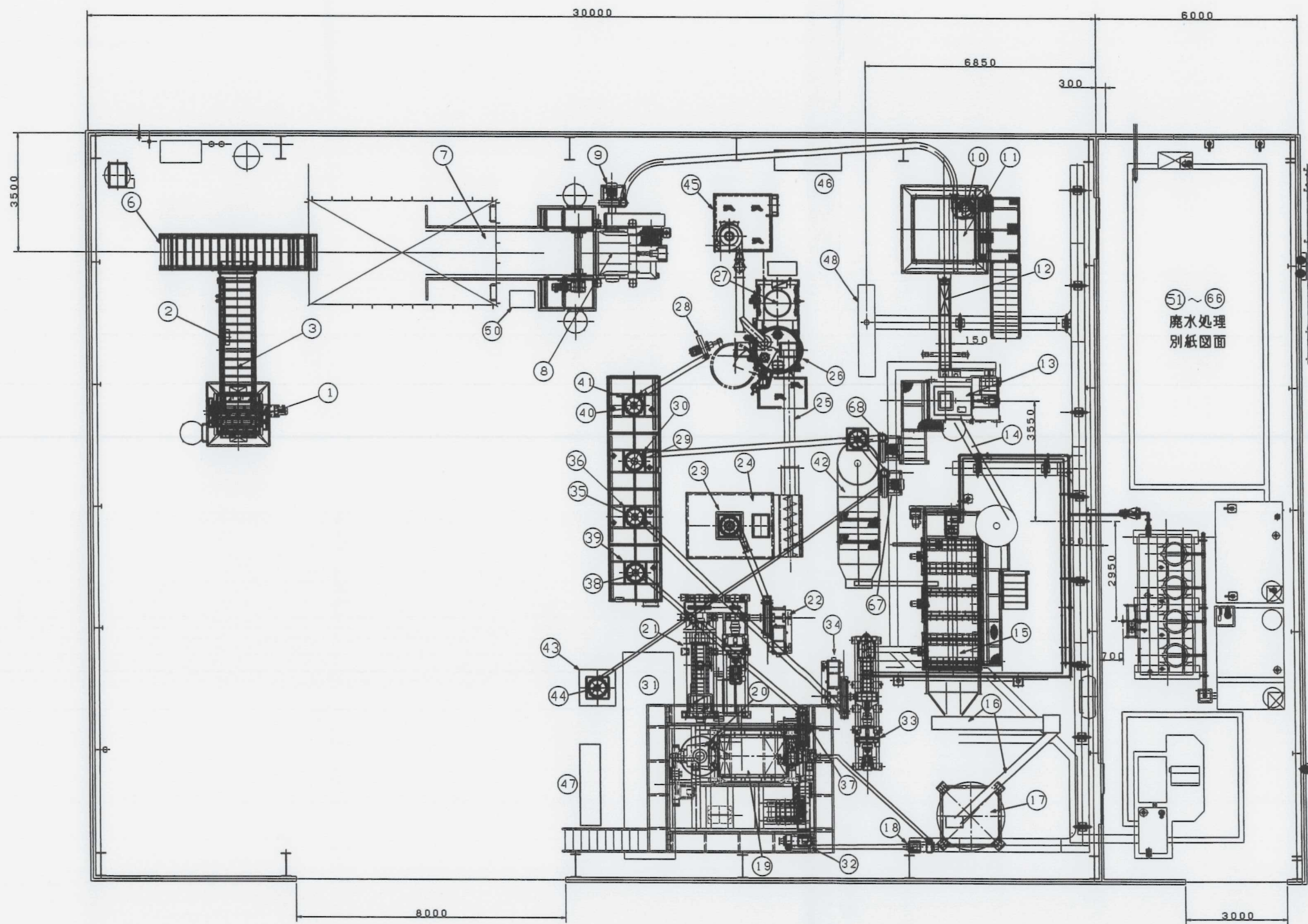
国土地理院の地理院タイルを加工して作成

(株) 湯沢クリーンセンター

(有) 清水産業

[illegible]議案第 4 号—15

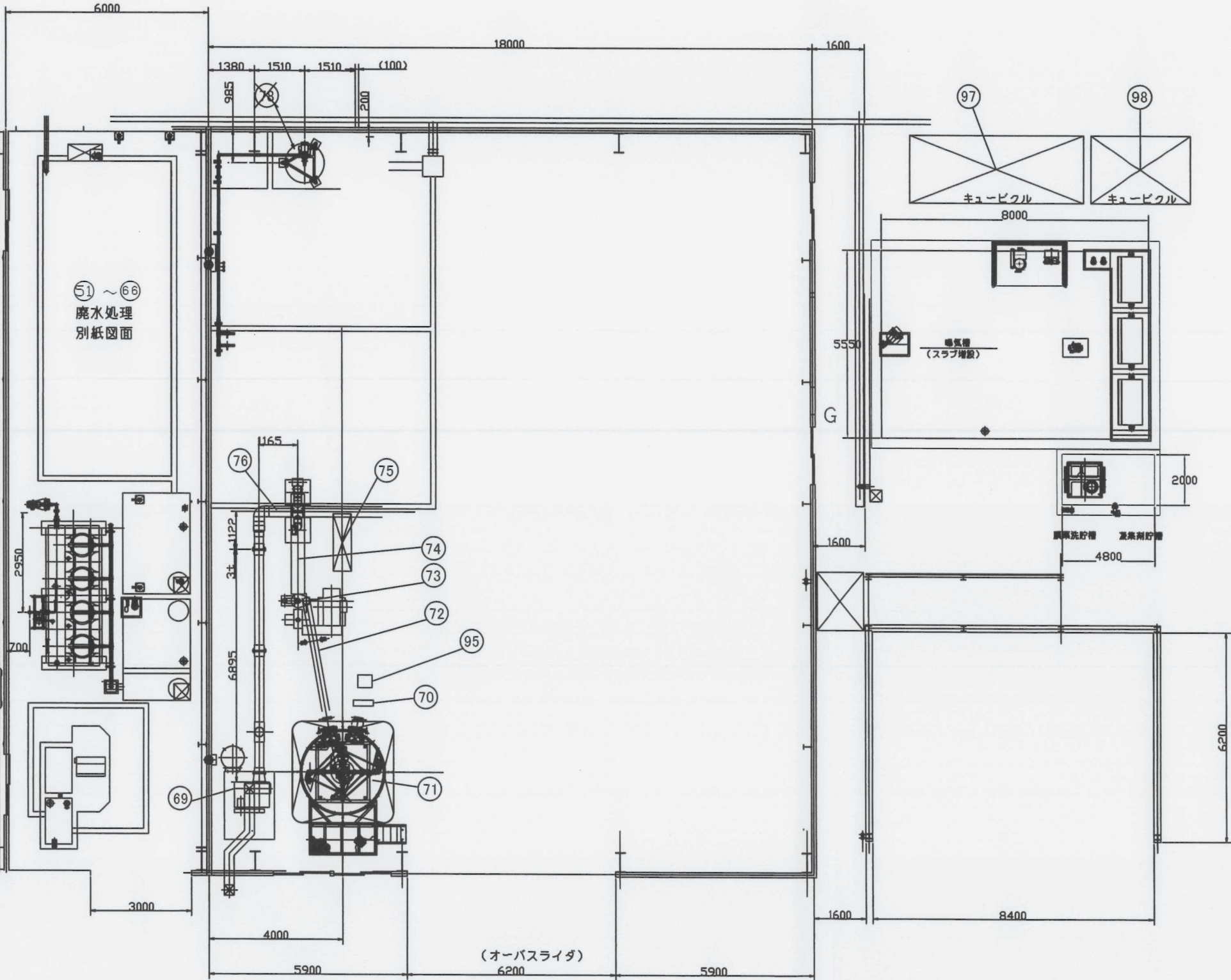
設備・機器平面図 1



50	乾式ライン制御盤			
49				
48	湿式ライン制御盤			
47	遠心分離機制御盤			
46	ガラスシュミキサー制御盤			
45	排気フロア			
44	キャッチャータンク			
43	サイクロン			
42	小型比重分離洗浄機			
41	キャッチャータンク			
40	サイクロン			
39	キャッチャータンク			
38	サイクロン			
37	フロア			
36	キャッチャータンク			
35	サイクロン			
34	フロア			
33	脱水機 (汁み品)			
32	供給ポンプ			
31	補給水タンク			
30	キャッチャータンク			
29	サイクロン			
28	フロア			
27	クッションタンク			
26	ガラスシュミキサー			
25	搬送スクリュウコンベヤ			
24	貯留タンク			
23	サイクロン			
22	フロア			
21	脱水機 (浮き品)			
20	脱水ふるい機			
19	遠心分離機			
18	供給ポンプ	68	フロア	
17	攪拌タンク	67	フロア	
16	搬送スクリュウコンベヤ	66	汚泥移送ポンプ	
15	比重分離洗浄機	65	再利用水ポンプ	
14	搬送スクリュウコンベヤ	64	曝気フロア	
13	湿式破砕機	63	廃水処理制御盤	
12	搬送スクリュウコンベヤ	62	廃水処理水ポンプ	
11	供給タンク	61	膜ユニット	
10	サイクロン	60	溶剤注入ポンプ	
9	フロア	59	廃棄洗ポンプ	
8	乾式破砕機	58	加圧浮上槽	
7	搬送コンベア	57	高分子自動溶解装置	
6	搬送コンベア	56	高分子注入ポンプ	
5		55	脱水機	
4		54	調整ポンプ	
3	手選別コンベア	53	汚泥ポンプ	
2	鉄片探知器	52	スリットセーバー	
1	2軸式破砕機	51	原水ポンプ	

品番	機器名称	モーター容量	品番	機器名称	モーター容量
工場名 廃プラスチックリサイクル 第二工場					
I事名 第二工場					
図面名称 配置図 1					
型式					
日付 2022.6 製作員数					
尺度 製図 検図 承認					
図番					
製番					
株式会社 湯沢クリーンセンター					

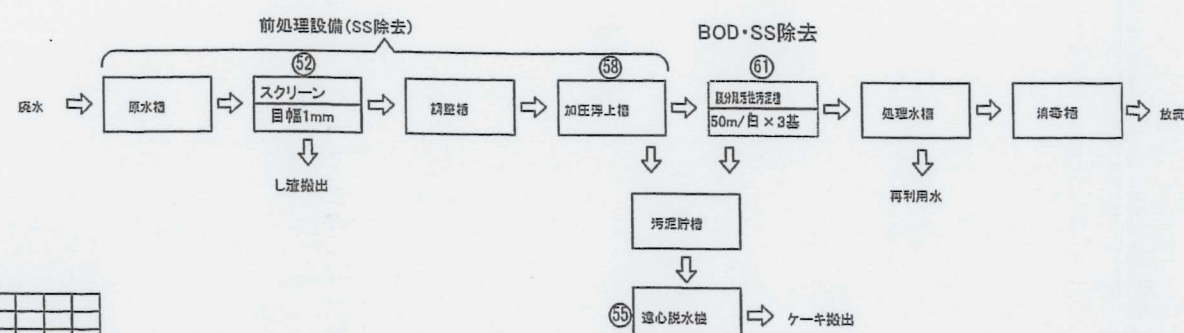
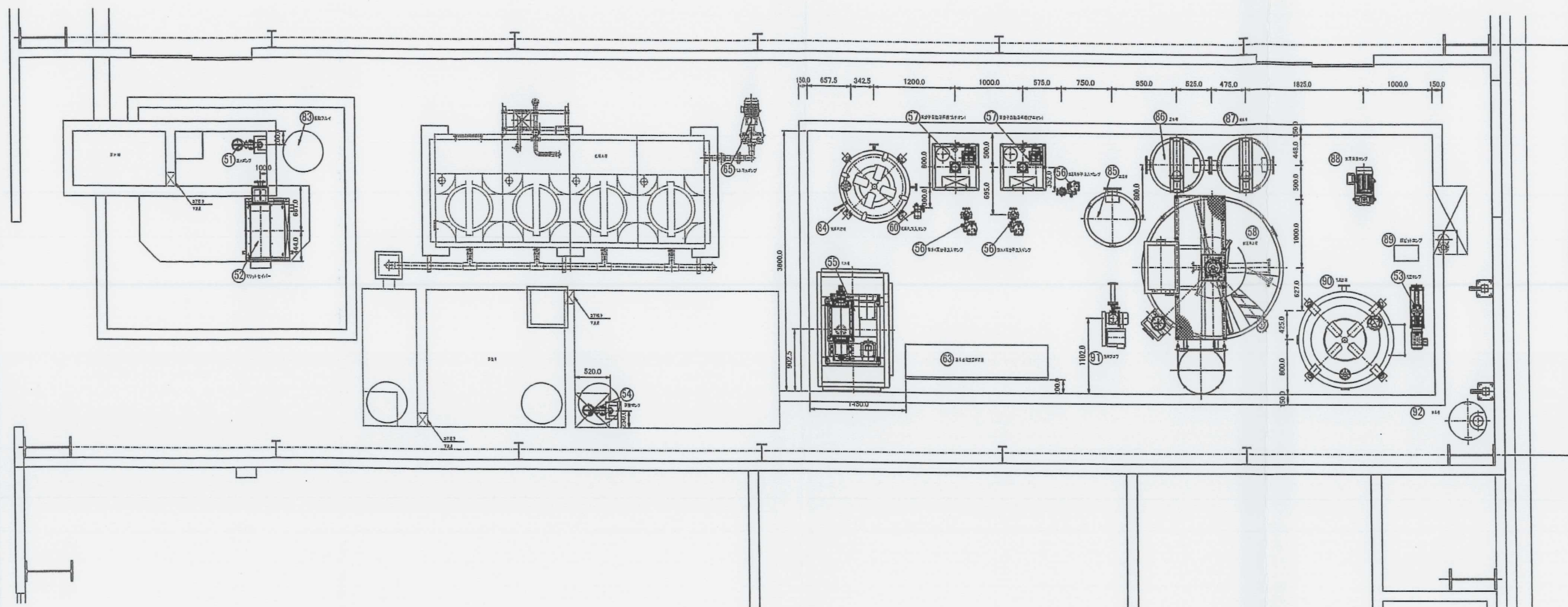
設備・機器平面図 2



100		
99		
98	受電設備3	
97	受電設備2	
96	受電設備1	
95	計量台量2	
94	計量台量1	
93	薬液混合槽	
92	消毒層	
91	攪はんフロア	
90	汚泥貯槽	
89	底ビットポンプ	
88	加圧循環ポンプ	
87	凝集槽	
86	混合槽	
85	加温槽	
84	凝集剤貯槽	
83	振動ふるい	
82		
81		
80	キャッチャータンク	
79		
78	冷却装置	使用停止 (工場内保管)
77		
76	フードダクト装置	
75	排水口	
74	押出機	
73	スクリューホップ供給機	
72	供給スクリューコンベア	
71	かはんミキサ	
70	かはんミキサ	
69	蒸気加熱フロア	
68	フロア	
67	フロア	
66	汚泥移送ポンプ	
65	再利用水ポンプ	
64	曝気フロア	
63	廃水処理制御盤	
62	廃水処理ポンプ	
61	膜ユニット	
60	凝集剤注入ポンプ	
59	膜薬洗ポンプ	
58	加圧浮上槽	
57	高分子自動溶解装置	
56	高分子注入ポンプ	
55	脱臭機	
54	調整ポンプ	
53	汚泥ポンプ	
52	スリットセーバー	
51	原水ポンプ	
品番	機器名称	メーカー

工場名	廃プラスチックリサイクル	日付	2022. 6	製作者	
第二工場		尺度		製図	検図
承認					
工事名	第二工場	図番			
図面名称	配置図 2	製番			
型式					

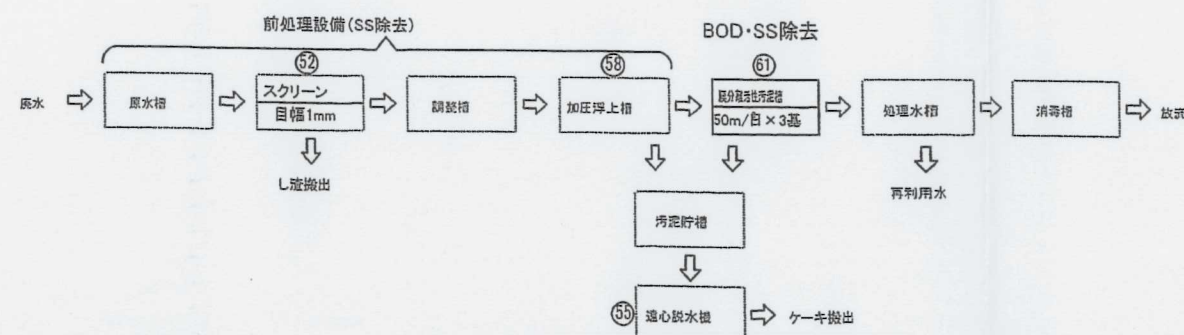
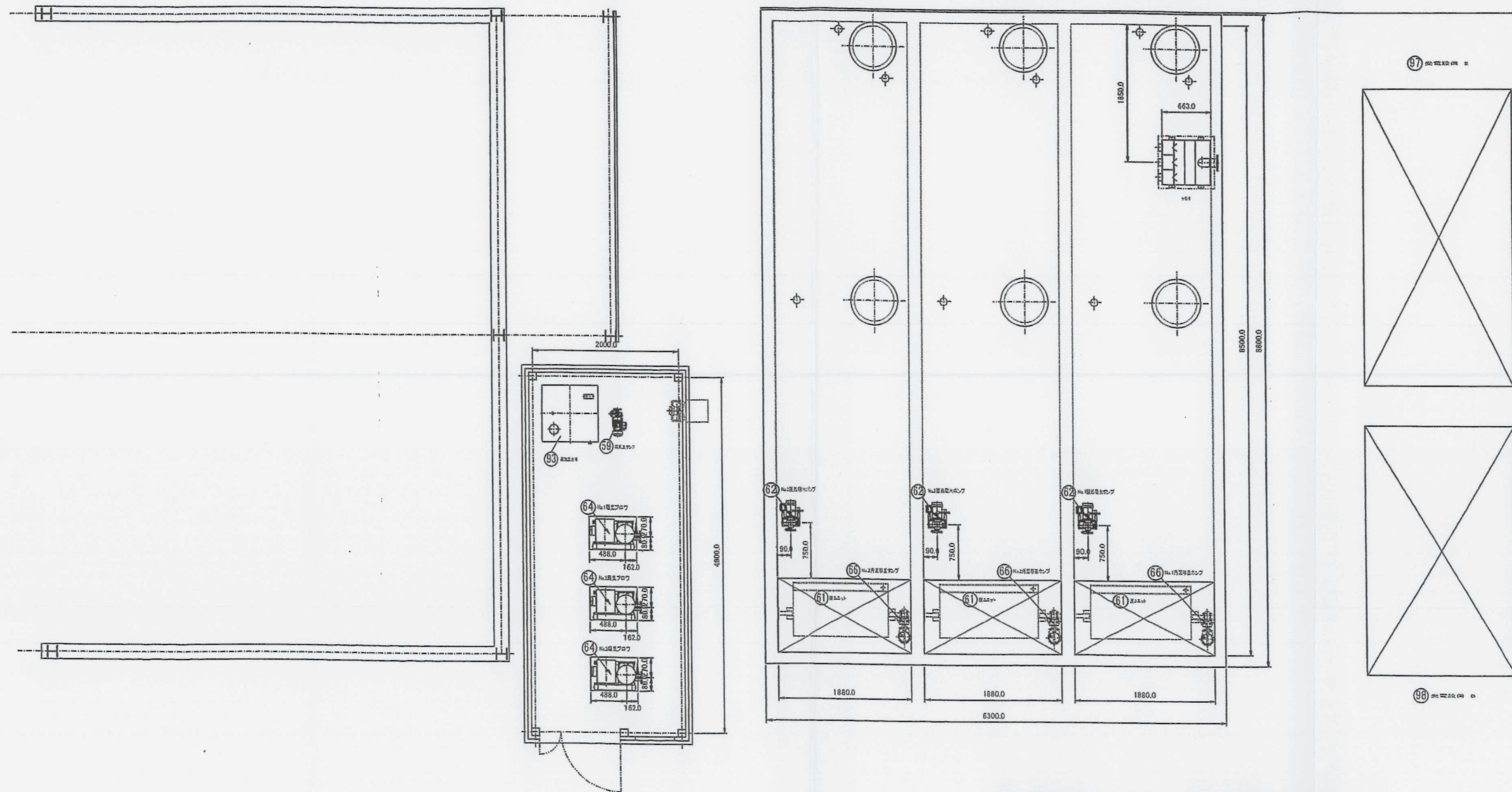
廃水処理施設 機器配置図 1



66	汚泥移送ポンプ	98	受電設備 3		
65	再利用水ポンプ	97	受電設備 2		
64	聴気ブロウ	96	受電設備 1		
63	废水処理制御盤	95	計量台秤 2		
62	废水処理ポンプ	94	計量台秤 1		
61	膜ユニット	93	薬液混合槽		
60	殺菌剤注入ポンプ	92	消毒槽		
59	廃薬洗ポンプ	91	攪拌ブロー		
58	加圧浮上槽	90	汚泥貯槽		
57	高分子自動溶解槽	89	床ビットポンプ		
56	高分子注入ポンプ	88	加圧循環ポンプ		
55	脱水機	87	蒸気槽		
54	調整ポンプ	86	混合槽		
53	汚泥ポンプ	85	加温槽		
52	スリットセパレー	84	殺菌剤貯槽		
51	原水ポンプ	83	振動フルイ		
品番	機器名称	品番	機器名称		

株式会社 選沢クリンセンター 秋田第二工場										
プラスチック製容器包装廃棄物処理施設 機器配置図1/2										
尺径	1/30	主	M.T	取	S.O	注	T.Y	取	J	
図面番号	11BW-1-09-101									
平成 23 年 04	 巴工業株式会社									

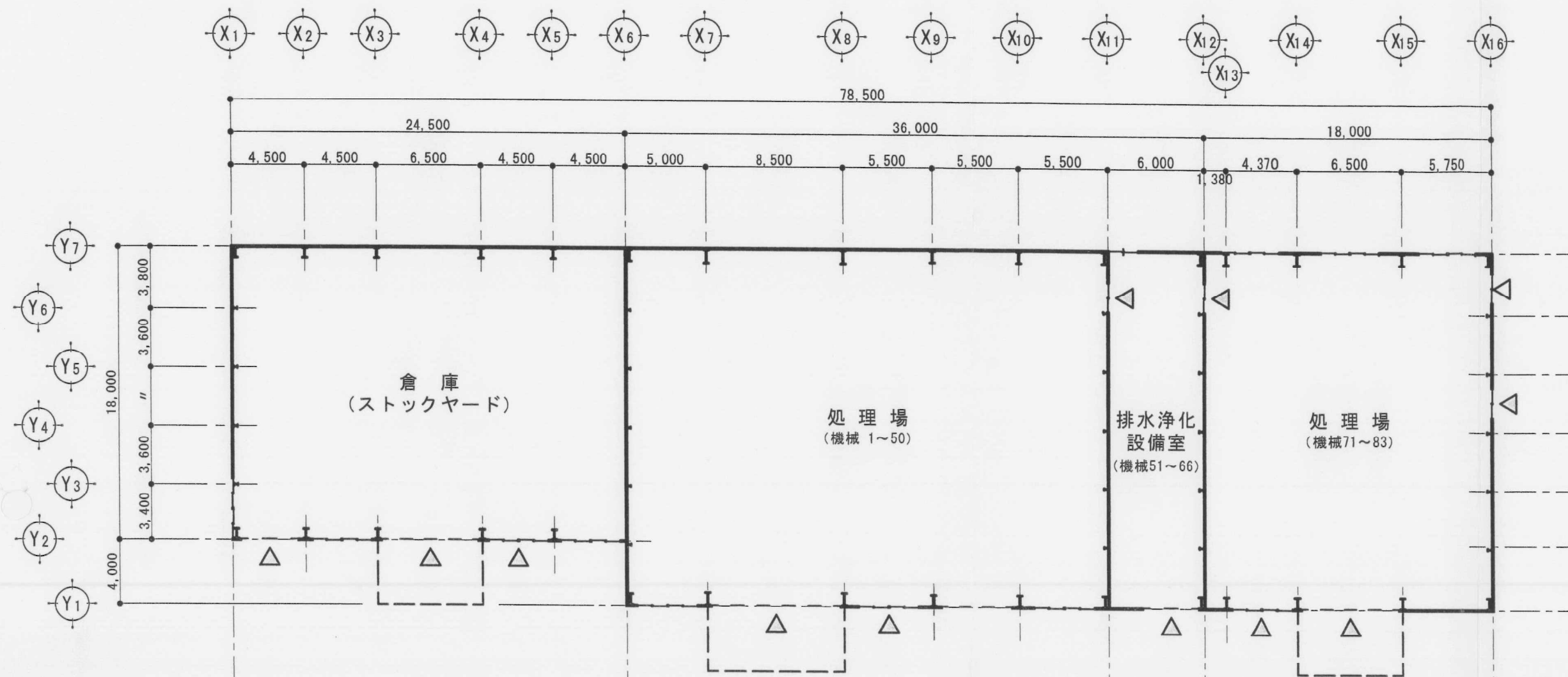
廃水処理施設 機器配置図 2



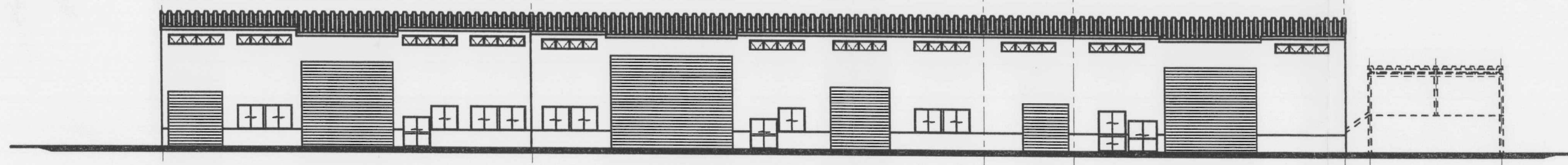
66	汚泥移送ポンプ	98	受電設備 3	
65	再利用水ポンプ	97	受電設備 2	
64	燃気ブロワ	96	受電設備 1	
63	底水処理制御盤	95	計量台秤 2	
62	底水処理水ポンプ	94	計量台秤 1	
61	膜ユニット	93	薬液混合槽	
60	凝集剤注入ポンプ	92	消毒槽	
59	膜薬洗ポンプ	91	攪拌ブロー	
58	加圧浮上槽	90	汚泥貯槽	
57	高分子自動溶解槽	89	床ビットポンプ	
56	高分子注入ポンプ	88	加圧循環ポンプ	
55	取水堰	87	凝集槽	
54	調整ポンプ	86	混合槽	
53	汚泥ポンプ	85	加温槽	
52	スリットセイバー	84	凝集剤貯槽	
51	原水ポンプ	83	振動フルイ	
品名	機器名称	品名	機器名称	

△				
△				
△				
△				
△	訂正事項	11.0218	T.Y	S.O
	訂正事項	日付	科目	摘要

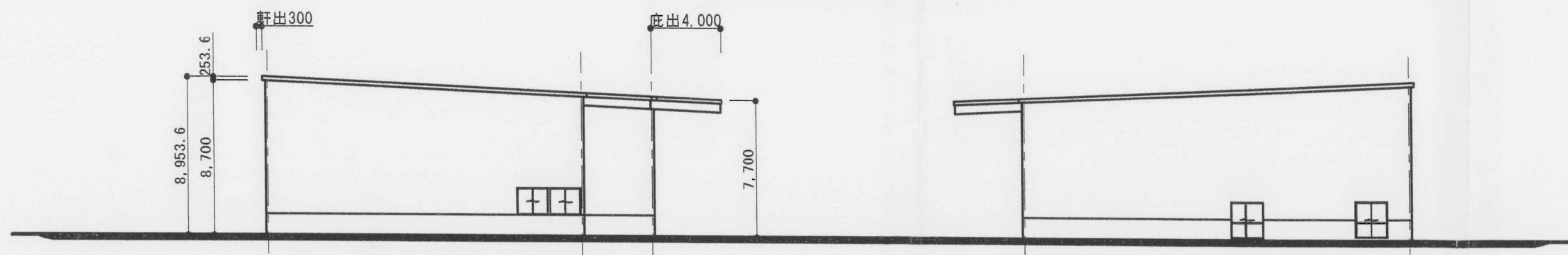
株式会社 湯沢クリーンセンター 秋田第二工場										図
プラスチック製容器包装廃棄物処理施設										
機器配置図2/2										
尺度 1/30	主	11T	11B	S.O	211	T.Y	21B	JTSP		
図面番号	11BW-1-09-102						△			
平成 28 年 11 月 14 日	 巴工業株式会社									



建物① 平面図 S=1:300

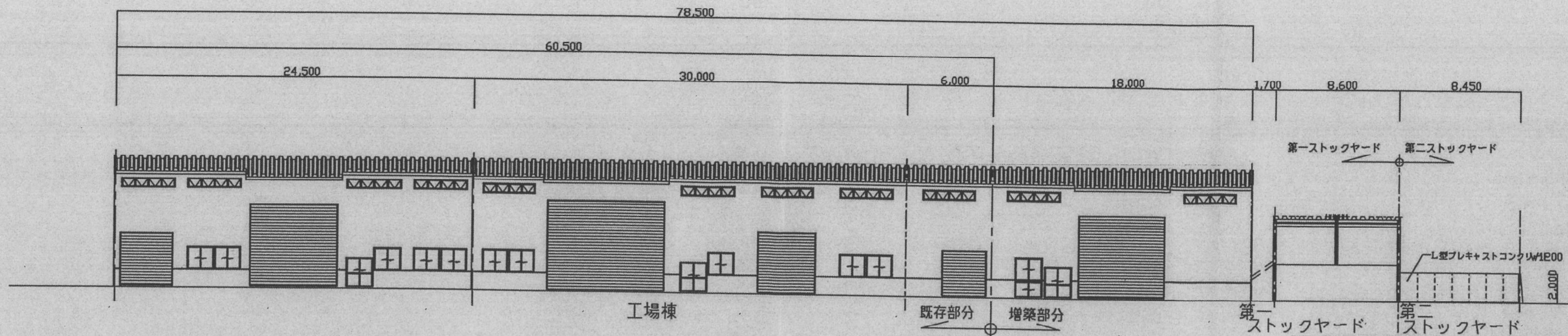


建物① 南側立面図 S=1:300

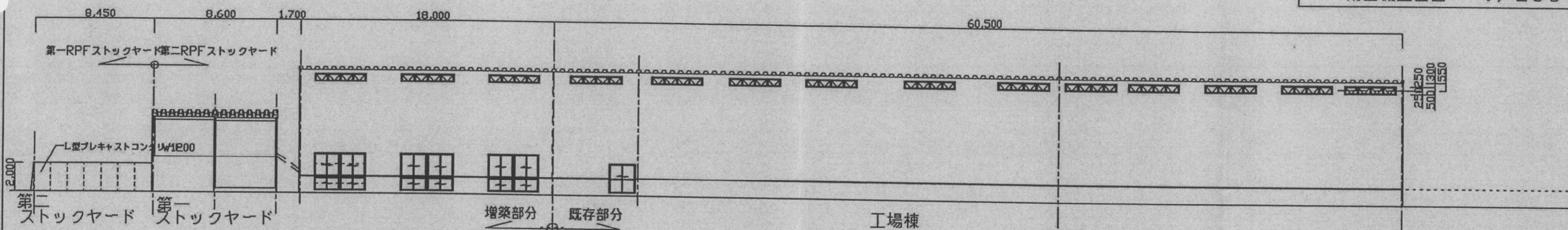


建物① 西側立面図 S=1:300

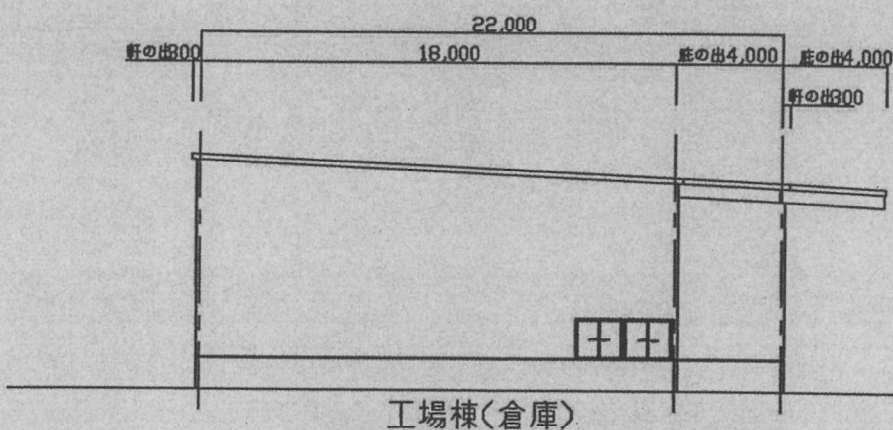
建物① 東側立面図 S=1:300



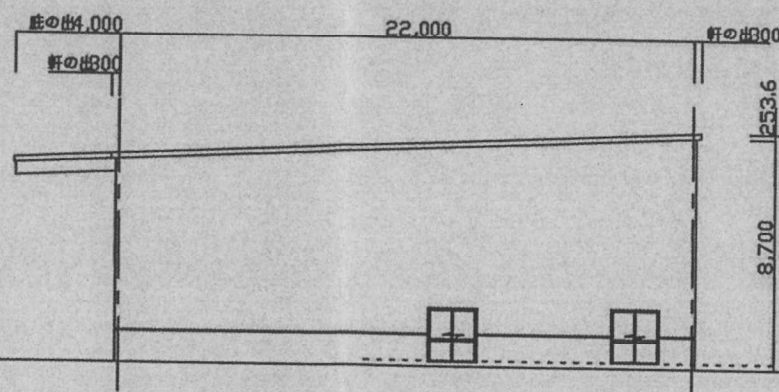
南西側立面図 1/200



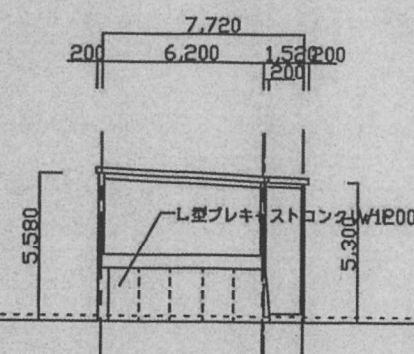
北東側立面図 1/200



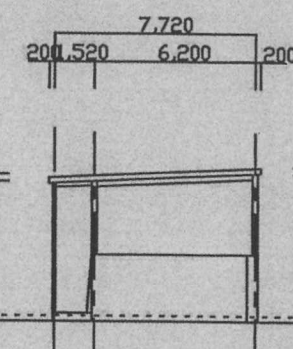
北西側立面図 1/200



南東側立面図 1/200

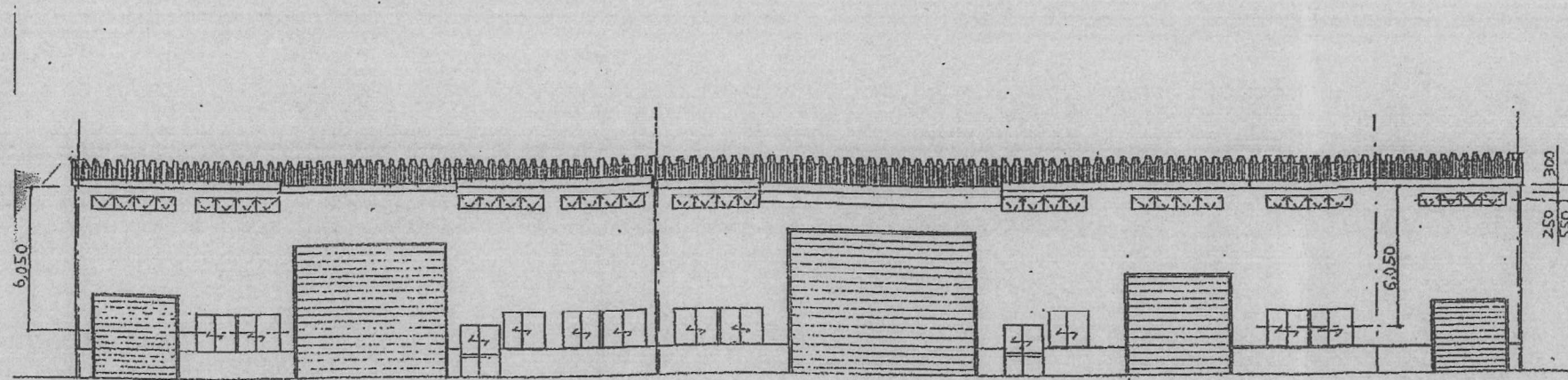


ストックヤード 南東側立面図 1/200

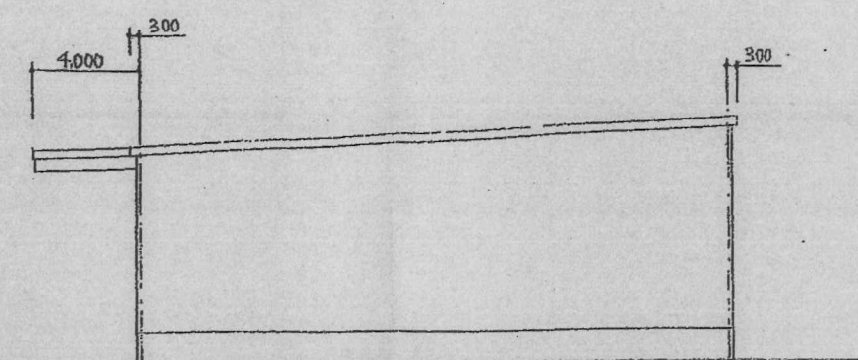


ストックヤード 北西側立面図 1/200

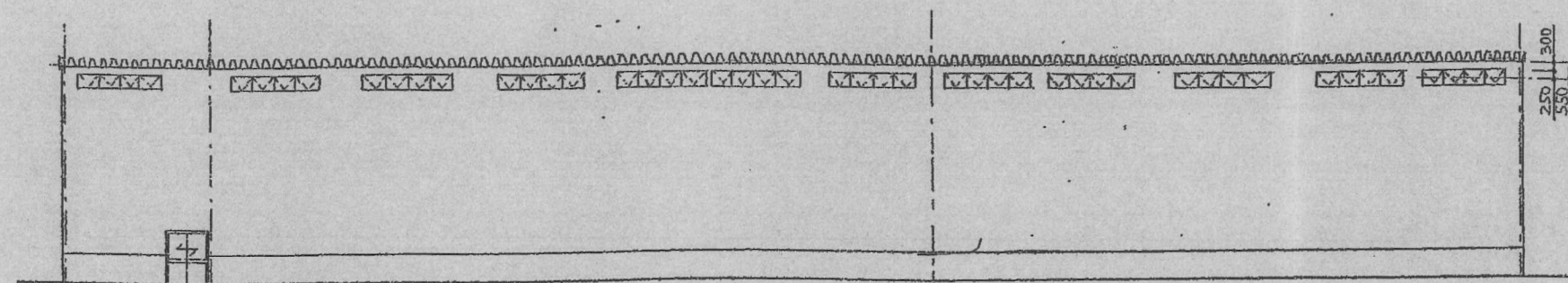
令和 4年 11月	縮尺 1:100		
承認	照査	担当	設計製図
		図名	立面図
(株)湯沢クリーンセンター		図番	K-004



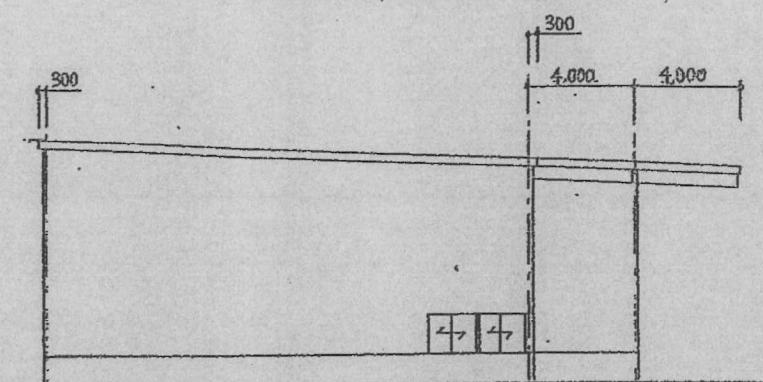
南西側立面図 1/200



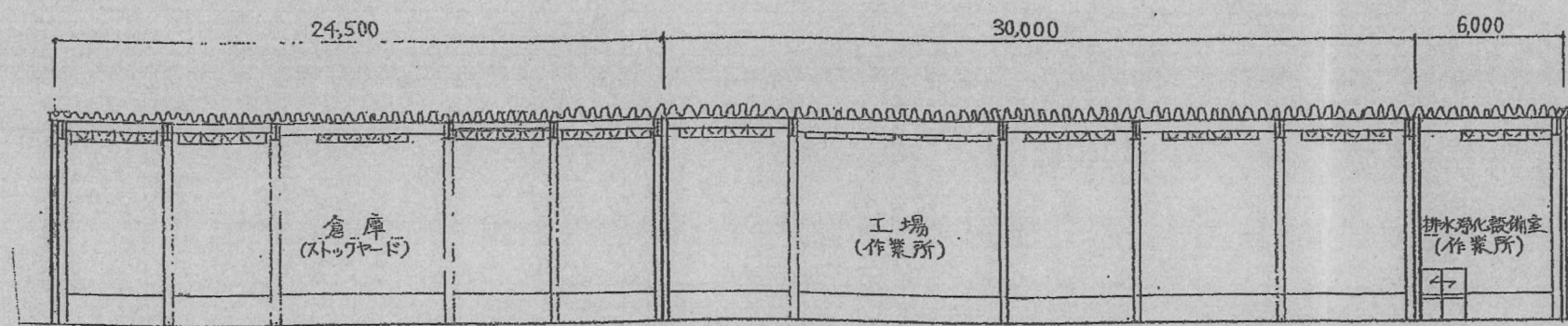
南東側立面図 1/200



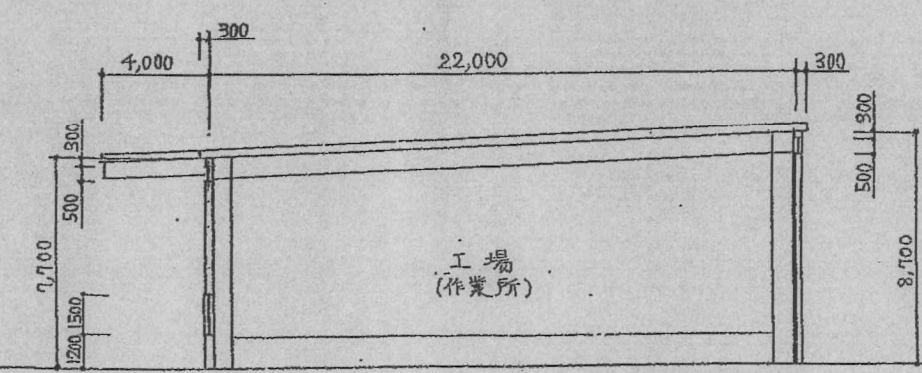
北東側立面図 1/200



北西側立面図 1/200



③~③断面図 1/200



①~①断面図 1/200

	秋田市八橋イサノ二丁目15番25号 北日本通商株式会社 事務所登録 05-04A-0576 建築士登録 (一級) 289940-1	一級建築設計事務所 原田 裕	承認 設計 担当	縮尺 1/200 設計年月日	工事名称 北日本通商(株)環境事業部作業所及び倉庫 新築工事 図面名称 各立面図・断面図	No. 4
--	---	-------------------	----------	-------------------	---	-------

24時間換気システム計算表

	室名	床面積 (㎡)	天井高 (m)	室容積 (m³)	換気回数 (回/h)	必要換気量 (m³/h)	選定排気量 (m³/h)	実換気回数 (回/h)	結果	選定機種
1階	会議室	46.37	2.4	111.29	0.3	33.39	34	0.31	O.K	VFE-8JD 東芝
2階	事務室	40.58	2.4	97.39		29.22	30.5	0.31	O.K	VFP-14JD (C) 東芝
	休憩室	12.42	2.4	29.81		8.94	24.5	0.82	O.K	VFP-10JD (C) 東芝

凡例

- : 柱 120×120
- ⊕ : 通し柱 120×120
- : 筋違い 90×45
- ⊗ : 筋違い (タスキ) 90×45
- ⊙ : 住宅用消火器 (5型)

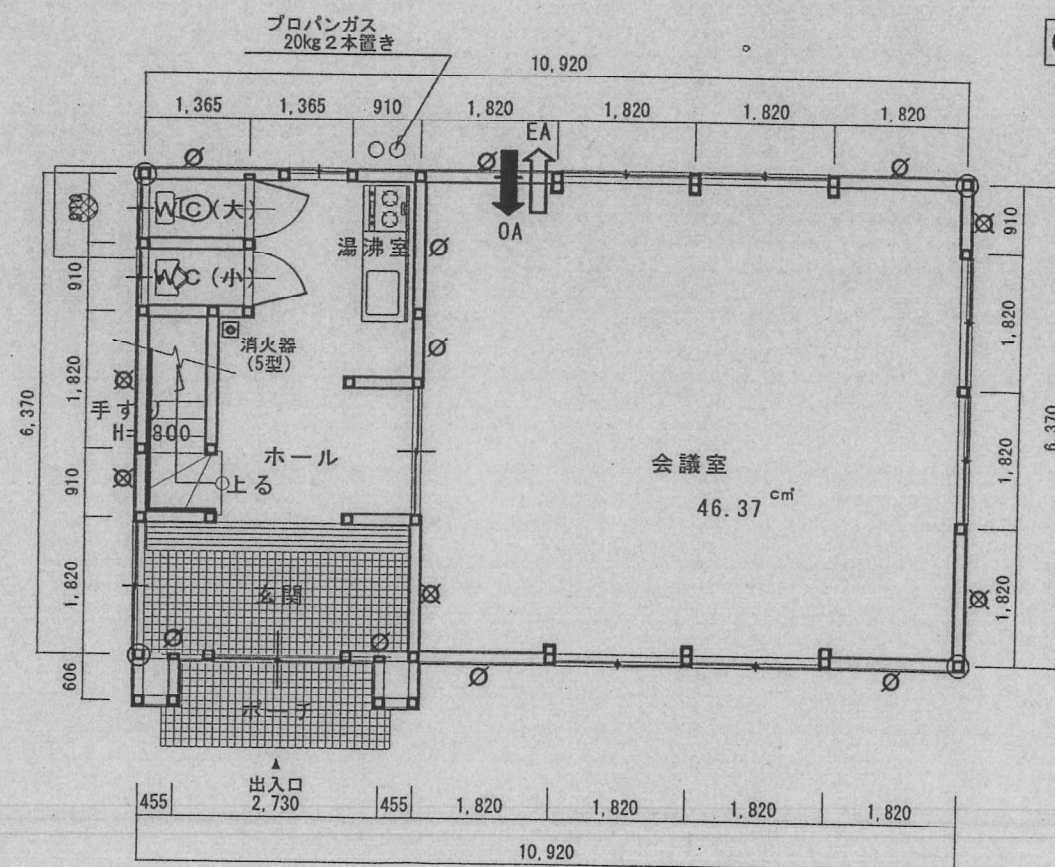
内壁・天井仕上材
準不燃ビニールクロス貼り
(下地: 9.5mm石膏ボード)

換気システム (第一種)

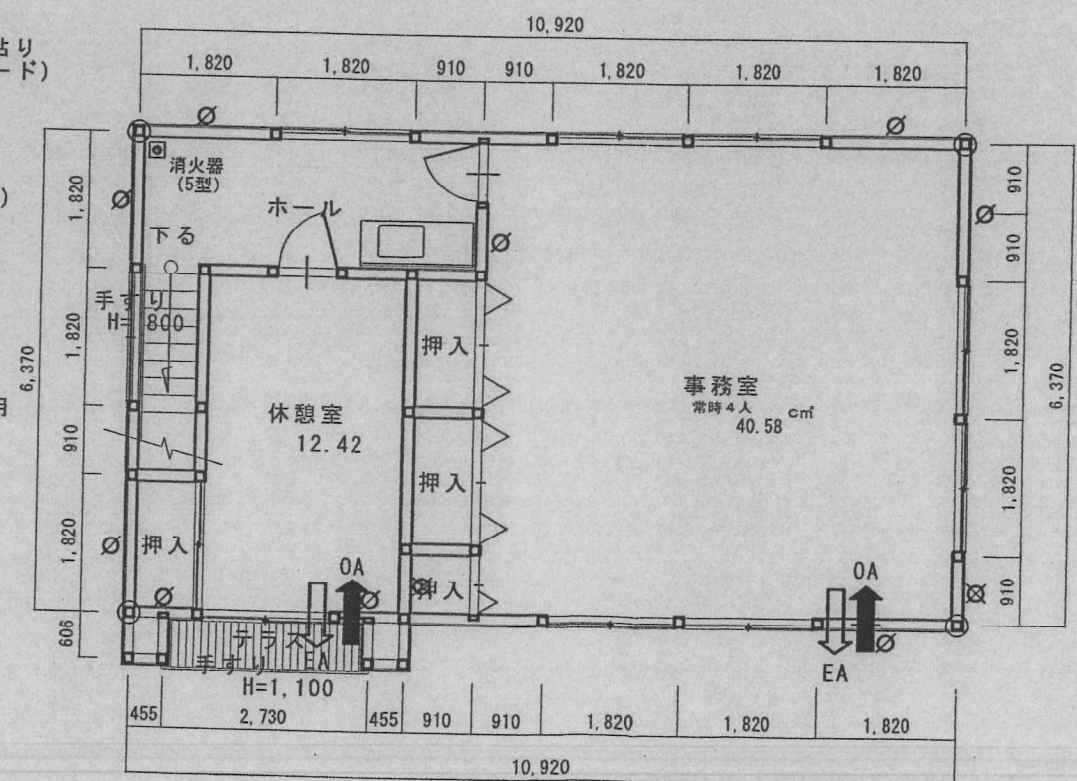
- OA → : 強制給気
- EA ← : 強制換気

居室共通事項

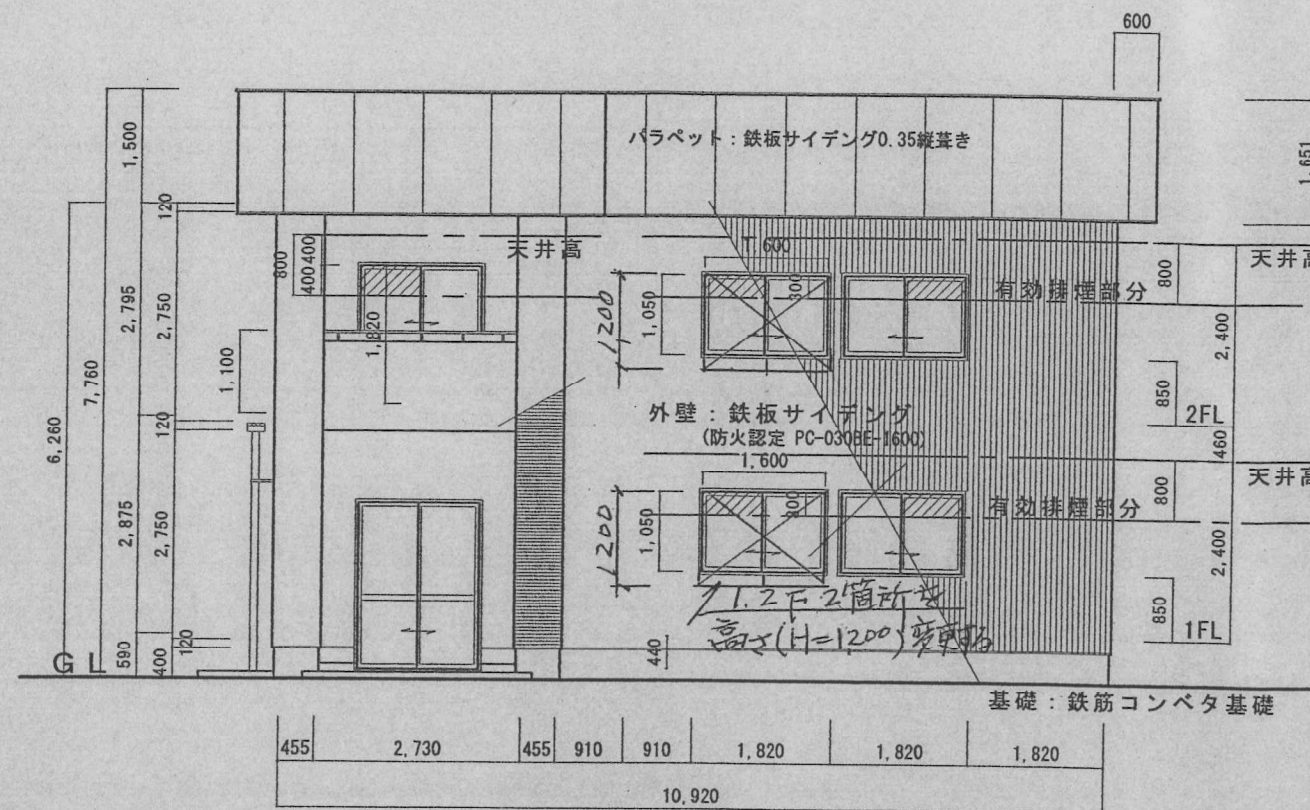
暖冷房はクーラーを使用



1階平面図 縮尺=1:100



2階平面図 縮尺=1:100

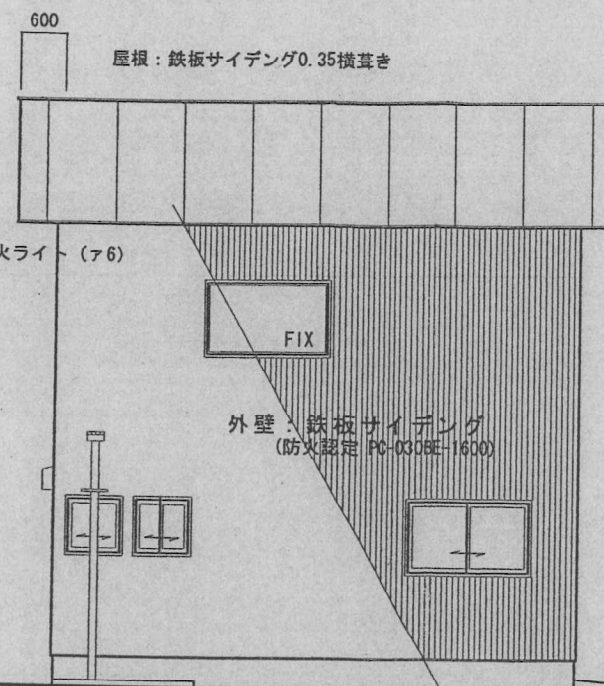


南側立面図 縮尺=1:100

2階事務室排煙計算
 必要排煙 $6.37 \times 6.37 = 40.576$
 $40.58 \times 1/50 = 0.811$
 有効開口部 $0.3 \times 1.6/2 \times 6 \text{箇所} = 1.44$
 $0.81 < 1.44 \therefore \text{OK}$

1階会議室排煙計算
 必要排煙 $7.28 \times 6.37 = 46.373$
 $46.37 \times 1/50 = 0.927$
 有効開口部 $0.3 \times 1.6/2 \times 6 \text{箇所} = 1.44$
 $0.93 < 1.44 \therefore \text{OK}$

2階休憩室排煙計算
 必要排煙 $2.73 \times 4.55 = 12.421$
 $12.42 \times 1/50 = 0.248$
 有効開口部 $0.4 \times 1.6/2 \times 1 \text{箇所} = 0.32$
 $0.25 < 0.32 \therefore \text{OK}$



西側立面図 縮尺=1:100

換気計算
 事務室 40.58 m^3
 必要換気 $40.58 \times 1/20 = 2.029$
 有効換気部 $1.6 \times 1.05 \times 6 \text{箇所} \times 1/2 = 5.04$
 $2.03 < 5.04 \therefore \text{OK}$

会議室 46.37 m^3
 必要換気 $46.37 \times 1/20 = 2.318$
 有効換気部 $1.6 \times 1.05 \times 6 \text{箇所} \times 1/2 = 5.04$
 $2.32 < 5.04 \therefore \text{OK}$

休憩室 12.42 m^3
 必要換気 $12.42 \times 1/20 = 0.64$
 有効換気部 $1.6 \times 1.78 \times 1 \text{箇所} \times 1/2 = 1.42$
 $0.62 < 1.42 \therefore \text{OK}$

外部建具：アルミサッシ

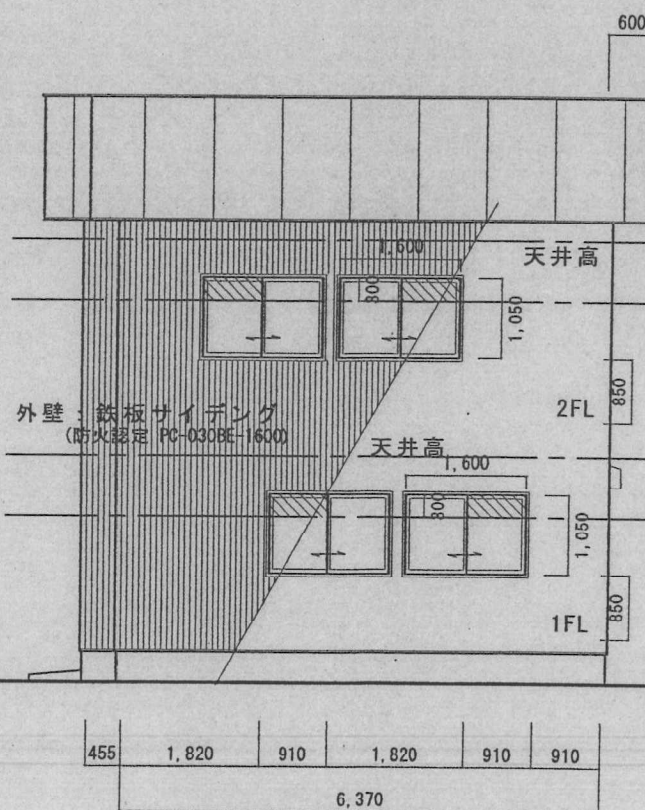
ガラス 3mm トーメイ (ベアー)
 トイレ外側4mm 内3mm (ベアー)

消防法無窓階チェック

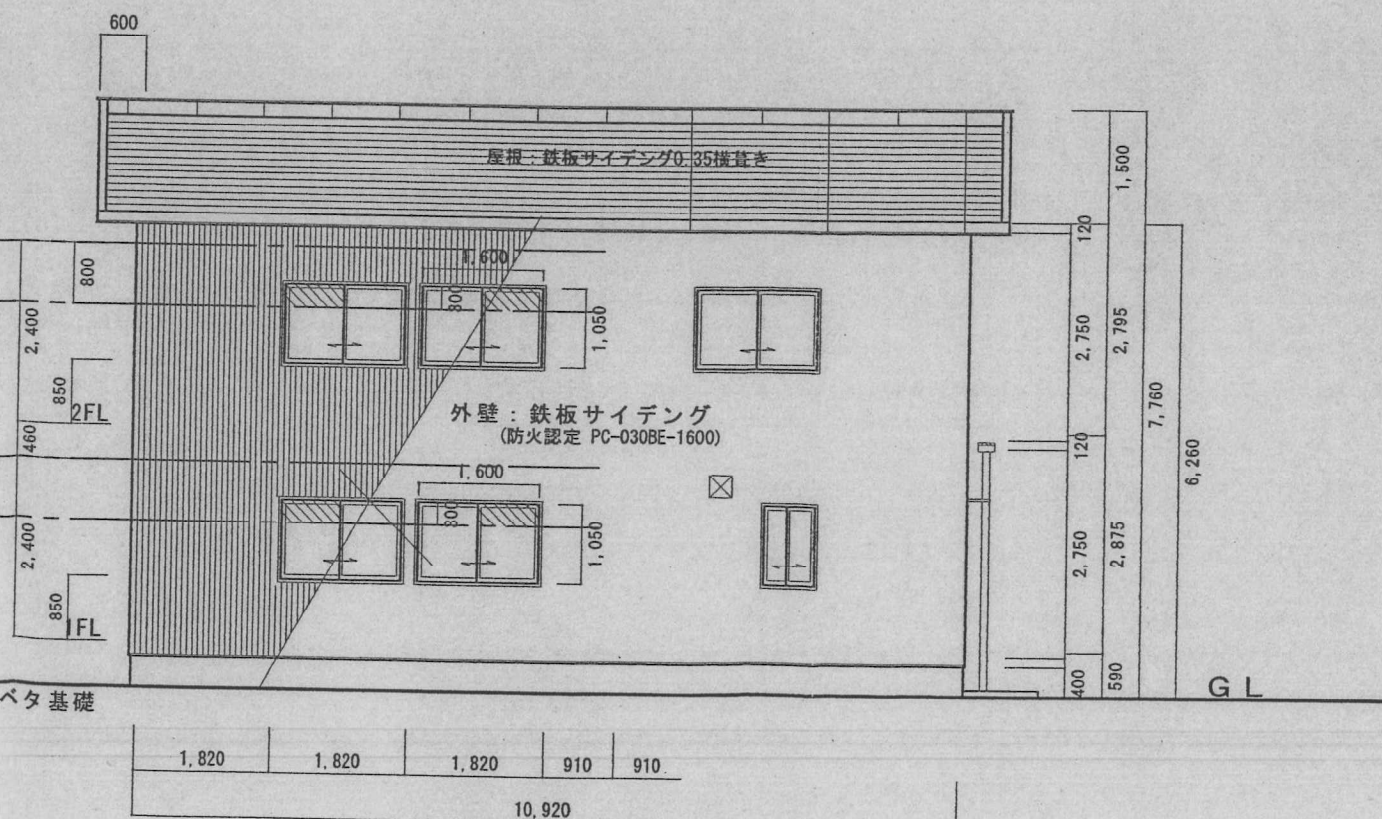
1階床面積 $10.92 \times 6.37 = 69.56$
 必要開口部 $69.56 \times 1/30 = 2.32$
 有効最小開口部 $1.6/2 \times 2.2 (\text{玄関}) + 1.6/2 \times 1.05 \times 2 (\text{南側窓}) = 3.44$
 $2.32 < 3.44 \therefore \text{OK}$

2階床面積 $10.92 \times 6.37 = 69.56$
 必要開口部 $69.56 \times 1/30 = 2.32$
 有効最小開口部 $1.6/2 \times 1.82 (\text{テラス}) + 1.6/2 \times 1.05 \times 2 (\text{2F南側窓}) = 3.14$
 $2.32 < 3.14 \therefore \text{OK}$

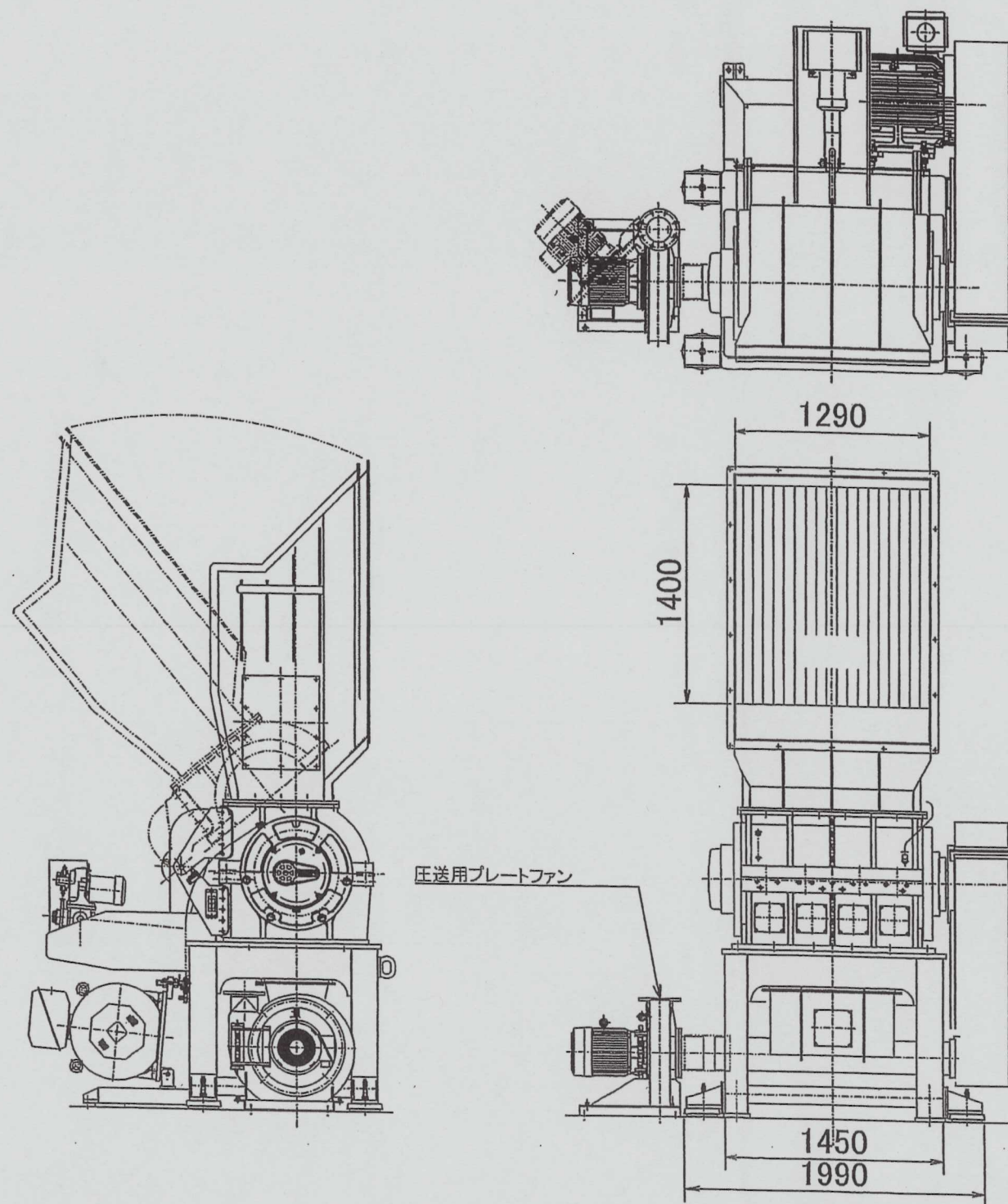
基礎：鉄筋コンベタ基礎



東側立面図 縮尺=1:100



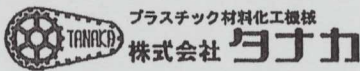
北側立面図 縮尺=1:100



機器番号 ⑧ 乾式破碎機

工場名 廃プラスチックリサイクル第二工場	日付 2011. 1	製作員数		
	尺度	製図	検図	承認
工事名	図番			
図面名称 乾式破碎機	製番			
型式	株式会社 湯沢クリーンセンター			

2019年1月24日



粉 碎 処 理 能 力 計 算 書

弊社の代表機器において、その能力計算書を下記に記します。

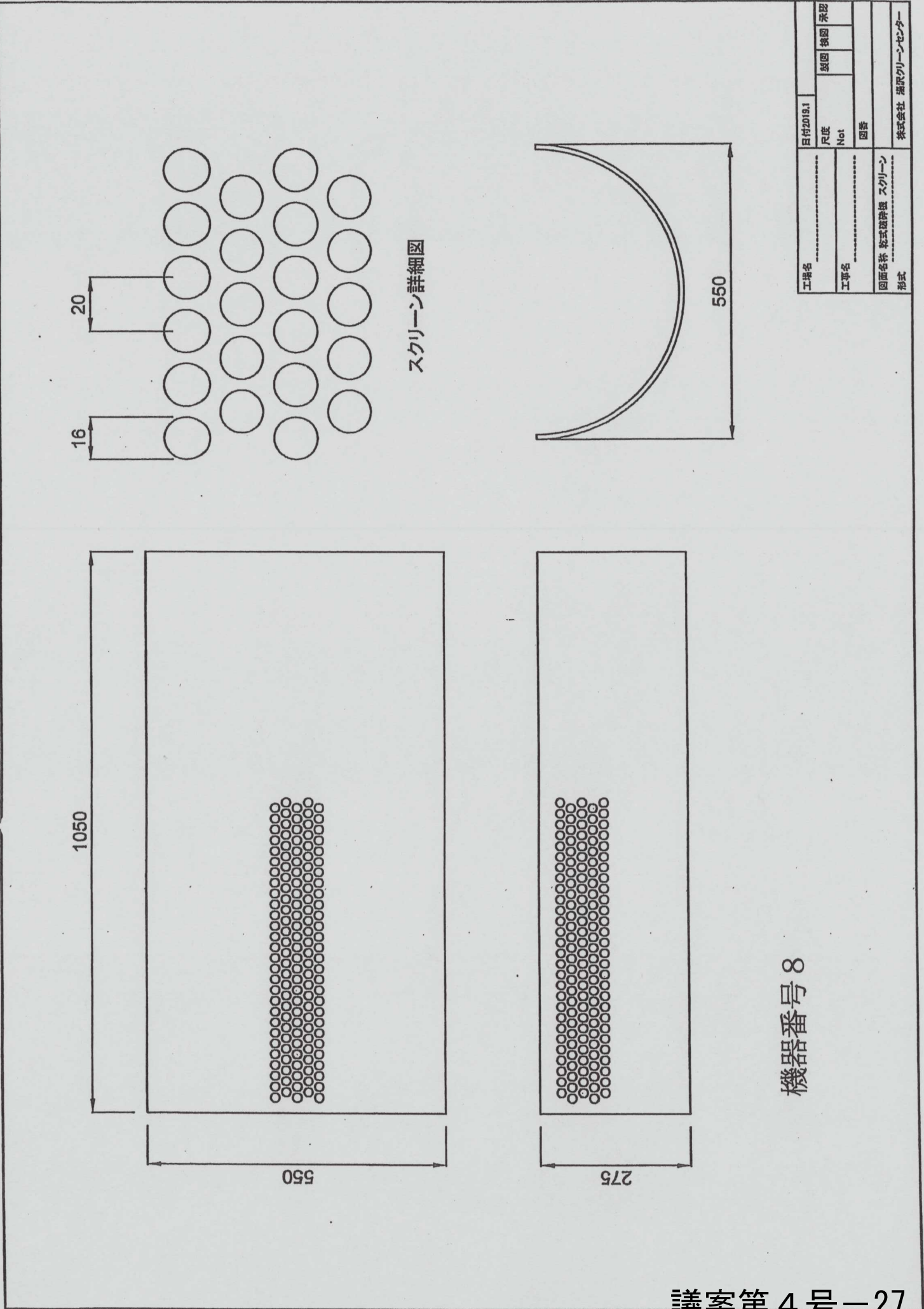
$V=M\times K3\times [(F/P)\times N\times K1\times K2]^{1/3}$

条件	破砕機形式	MF 55 - 1050		
	処理物	プラスチック容器包装材		
	樹 脂 主 成 分	PE		
	形 状	プレス品		
	見掛け比重	0.03		
	平均寸法 縦	170 mm		
	横	150 mm		
	高さ	30 mm		
計算結果	スクリーン径	φ 16 mm		
	パラメーター	単位	記号	数値
	回転刃の回転空間容積	(m³)	M	0.16622375
	スクリーン径	(m³)	F	0.000201
	粉碎物の体積	(m³)	P	0.000765
	回転刃回転数	(r/min)	N	550
	切断効率	—	K ₁	23.5
	スクリーン通過係数	—	K ₂	25
	材料定数		K ₃	4.0
	処理容量	(m³/h)	V	29.22
	処理重量	(ton/h)	T	0.877

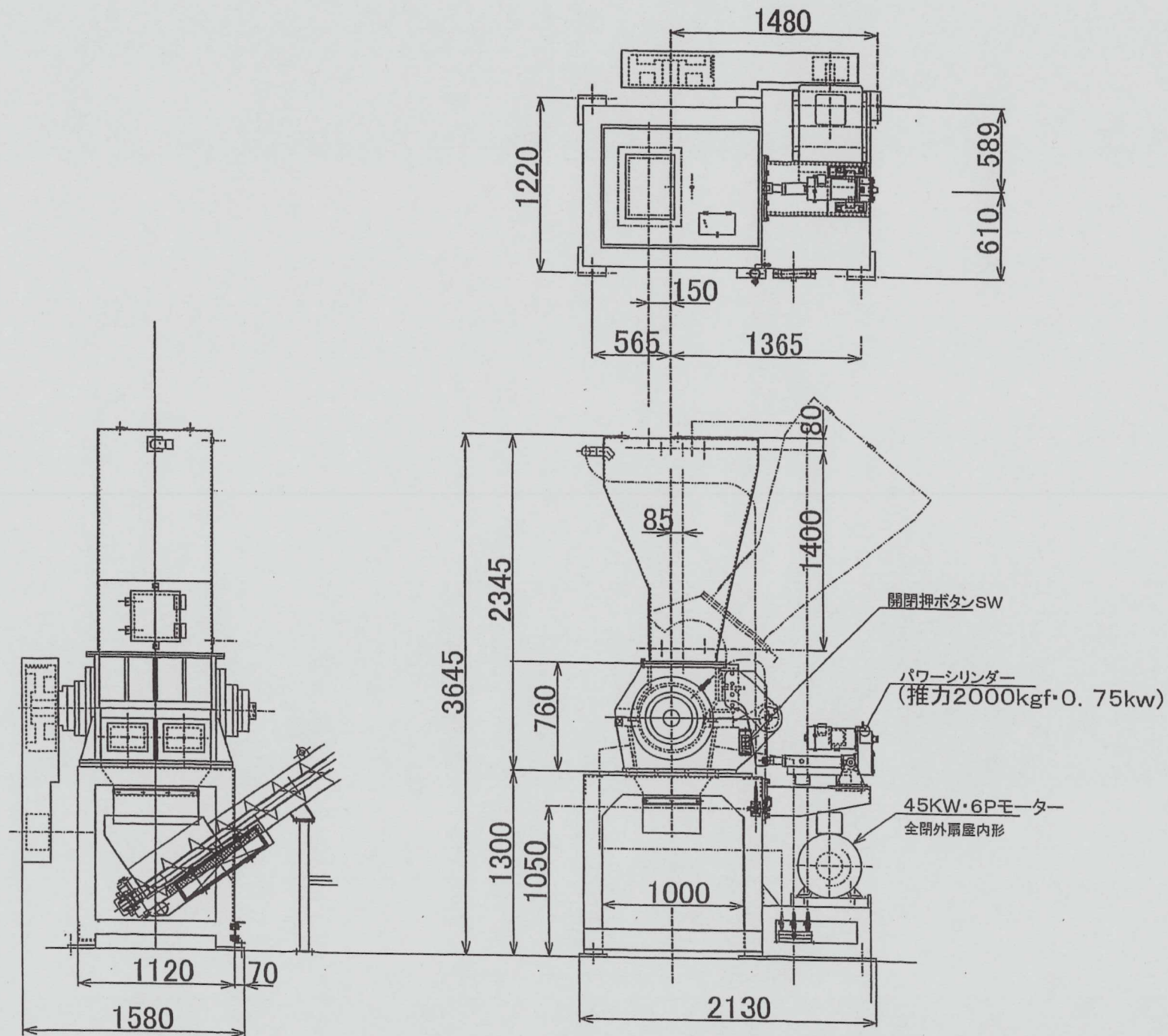
尚、本計算書はあくまで上記条件のみを計算対象にしており、粉碎処理量は下記下記条件等によって変わります。

- 1. 刃の状態 : 新品時(研磨仕上)と摩耗時では変わります。
- 2. スクリーン: 新品時と摩耗時では変わります。
- 3. K₁: 破砕機の形式と材料の形状・排出スクリーンの大きさで経験値により設定してます。

(以上)



工場名	日付2019.1	尺度	縮図	承認
工事名		Not		
図面名称	破砕機形式	スクリーン	図番	
形式	株式会社	環境クリーンセンター		



機器番号 13 湿式破碎機

工場名	廃プラスチックリサイクル第二工場	日付	2011. 1	製作員数	
工事名		尺度		製図	検図
図面名称	湿式破碎機	図番		承認	
型式		製番			
		株式会社 湯沢クリーンセンター			

19. 1. 25

粉砕能力計算書

- 1, 粉砕機仕様
- 形式

DN—450—800型
- 回転刃直径

φ 450mm
- 回転刃幅

800mm
- 回転数

480rpm
- 動力

45kw 6Pモーター

- 2, 粉砕機能力計算式は次のようになります。
- 見掛け比重は0. 06とします。

計算式

$Q = \pi D^2/4 \times q \times W \times N \times 60 \times b \times p \times K \quad (\text{ton/hr})$

D : 回転刃直径(m)

q : 回転刃くい込み部容量(円の面積に対する)=23%

W : 回転刃全巾(0. 8m)

N : 回転数(rpm)=480

60 : 分(時間換算)

b : 刃数/周=3

p : 比重(密度)=0. 06

k : 効率=0. 0058

$Q = 0. 45^2 \pi /4 \times 0. 23 \times 0. 8 \times 480 \times 60 \times 3 \times 0. 06 \times 0. 0058$

$Q \approx 0. 879 \text{t/h}$

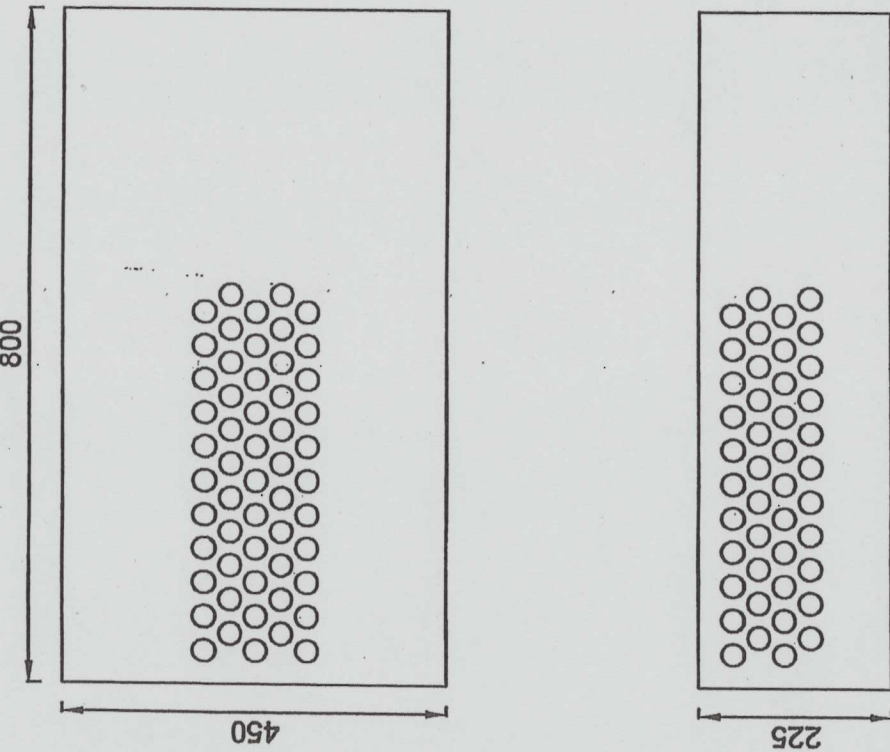
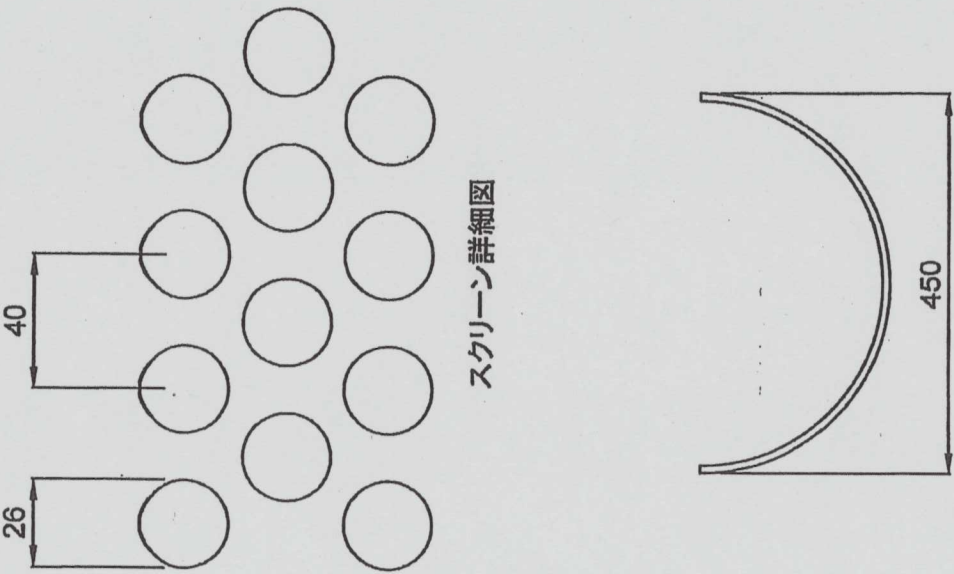
約879kg/hrの粉砕能力になります。

(スクリーン径: φ 26)

- 3, k:効率についての説明

材料の食い込みの良さやスクリーン径の大きさなどで過去の経験値により設定しています。

大登機械(株)・技術部



工場名	目付2018.1	尺取	製図	検図	承認
工事名		Not			
図番					
図面名称	型式設計書	スクリーン			
形式	株式会社	大登クリンセンター			

添付写真①

前面道路(西側道路)より
申請敷地全体を撮影



事務所前より
工事および前面道路側(西側道路)を撮影



添付写真②

前面道路南側



前面道路北側



添付写真③

申請敷地内 工場棟を撮影
(手前側-倉庫・奥側-工場)

